'91 AMERICA

JAPAN WEEK

'91 AMERICA JAPAN WEEK IN UTAH

AMERICA
Japan Week
1991

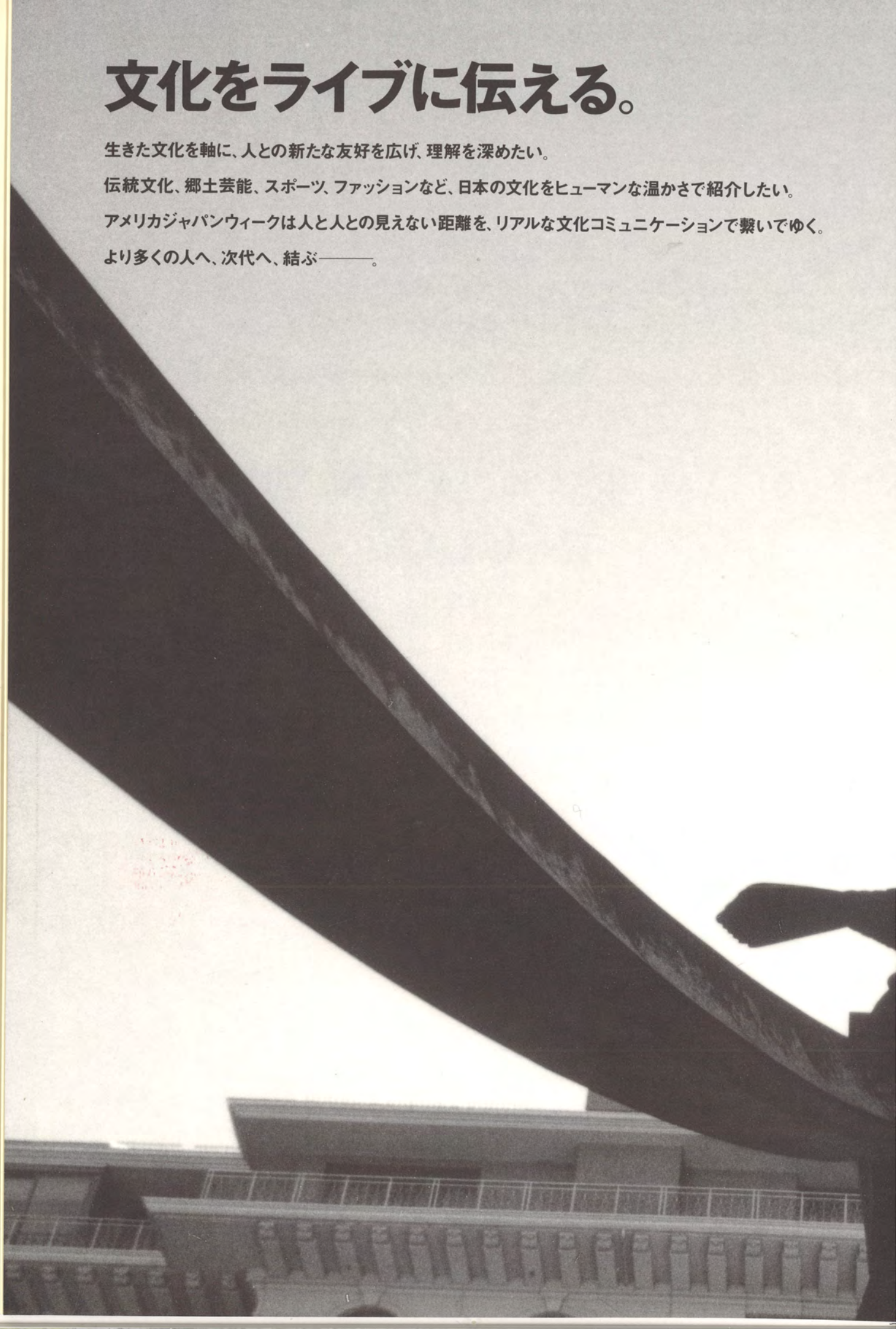
文化をライブに伝える。

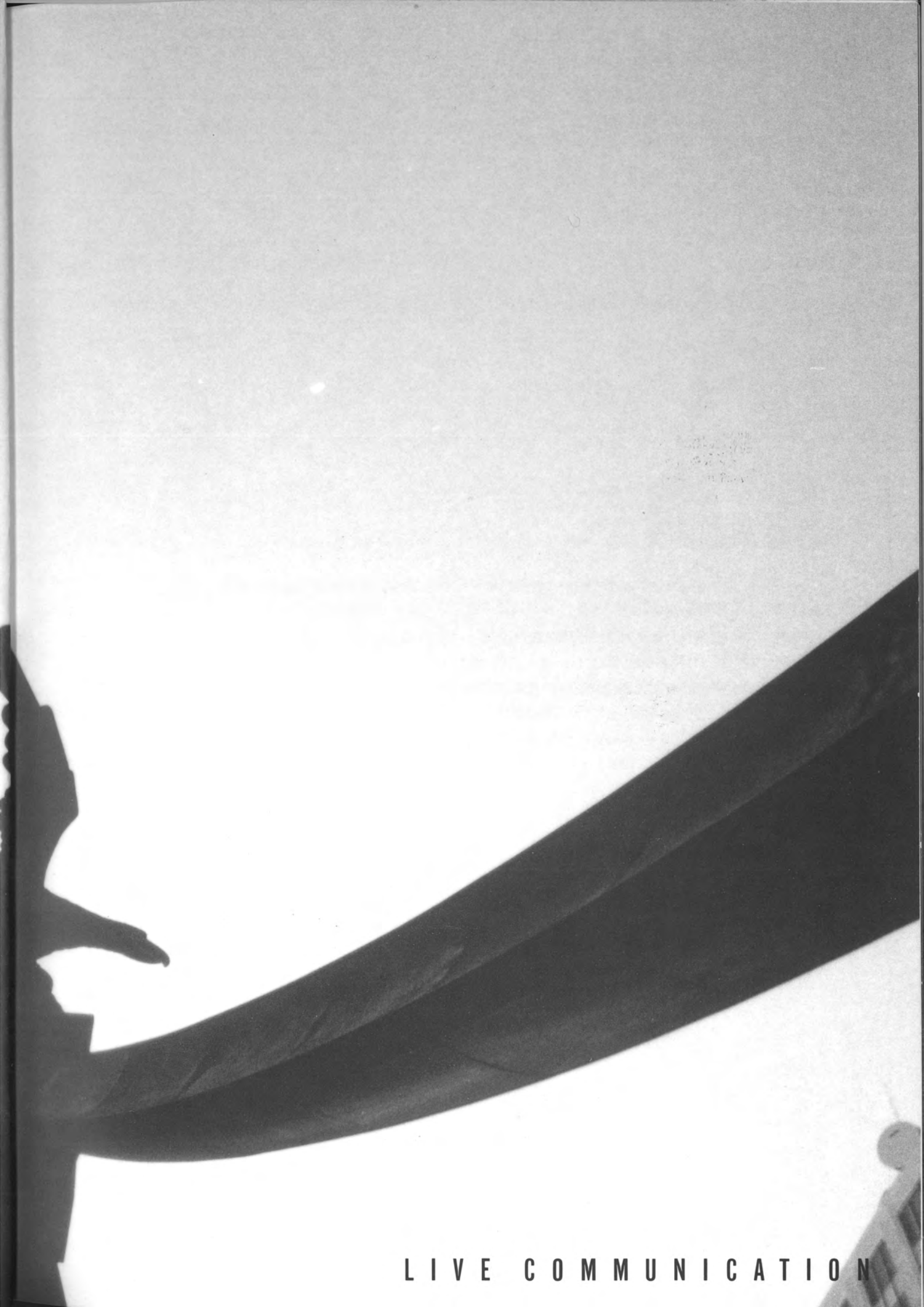
生きた文化を軸に、人との新たな友好を広げ、理解を深めたい。

伝統文化、郷土芸能、スポーツ、ファッションなど、日本の文化をヒューマンな温かさで紹介したい。

アメリカジャパンウィークは人と人との見えない距離を、リアルな文化コミュニケーションで繋いでゆく。

より多くの人へ、次代へ、結ぶ———。





LIVE COMMUNICATION

PROLOGUE

第1回アメリカジャパンウィーク実行委員会
(日本側)名誉理事長代行
衆議院議員
松田　岩夫

ジャパンウィーク実行委員会では、ヨーロッパにおいて、毎年1回EC(欧州共同体)の文化首都国家で、1986年・第1回イタリア・フローレンス市から、1990年・第5回英国スコットランド・グラスゴー市にいたるまで、過去5回にわたりジャパンウィークを開催してまいりました。
アメリカ合衆国においては、毎年1回各州で開催することとなり、1991年5月25日から6月1日まで、ユタ州において記念すべき第1回アメリカジャパンウィークを開催いたしました。
日本から58団体・1764名の方々のご参加をいただき、文化・スポーツを通じて、ユタ州民の方々との交流をより一層深め、友好親善に大きく寄与することができ、現地からも大変高い評価をいただきました。
まさにこのアメリカジャパンウィークは、官民一体による親善交流が大きく実を結んだといえましょう。
第1回アメリカジャパンウィークを開催するに当たり、ご参加、ご協力、ご支援いただいた方々に厚く御礼申し上げ、私の記念誌発刊の言葉とさせていただきます。

松田岩夫

第1回アメリカジャパンウィーク実行委員会
(米国側)名誉委員長
米国・ユタ州知事
ノーマン・H・バンガター

第1回アメリカジャパンウィークは、大成功の裡に終了いたしました。
皆様方のご協力、ご支援、誠にありがとうございました。
私共がユタ州ソルトレイクシティでこの祝典を開催することができたことは、大変名誉あることです。日本の文化は、とりわけ魅力のある素晴らしいものであり、日本人の習慣や国民性に触れることができて、大変喜ばしく思います。
日本の皆様方から、ご披露いただいた伝統文化、芸能などの贈り物と、敬意をいただいたことに対し、改めて厚く御礼申し上げます。
私共、ユタ州民は、これを機会として、より一層友好交流をいただくようお願いすると共に、再びお会いできる日を楽しみにしております。

Norman H. Bangerter

●調印式1990.8.1ユタ州議事堂内にてユタ州知事と名誉理事長 愛知和男

●記者会見1990.9.14東京プリンスホテル

第1回アメリカジャパンウィーク開催概要

●期　　間/1991年5月25日～6月1日 8日間
●主　　催/アメリカジャパンウィーク実行委員会
　日本側名誉理事長代行:松田岩夫(衆議院議員)　米国側名誉委員長:ノーマン・H・バンガター(ユタ州知事)
●後　　援/米国ユタ州政府、米国商務省観光局、在サンフランシスコ日本国総領事館、特殊法人 国際観光振興会、
　財団法人 日米地域間交流推進協会、社団法人 日米協会、西日本旅客鉄道株式会社
●協　　賛/日本航空株式会社、デルタ航空会社、株式会社日本旅行
●参加者数/58団体 1,800人
●観客動員数/80,000人

第1回アメリカジャパンウィーク実行委員会　組織

◆日本側

名誉理事長代行　松田岩夫
　衆議院議員、自民党国際局次長
名誉理事　フリッツ・M・シュミッツ
　米国商務省観光局・日本アジア地区支局長
理　　事　今村忠雄
　社団法人日本海外協会 理事長
　住田俊一
　特殊法人国際観光振興会 会長
　利光松男
　日本航空株式会社 代表取締役社長
　本田勇一郎
　西日本旅客鉄道株式会社常務取締役
　藤田良三
　株式会社日本旅行 常務取締役

◆アメリカ側

名誉委員長　ノーマン・H・バンガター
　米国ユタ州知事
名誉委員　スタンレイ・E・パリッシュ
　米国ユタ州政府商務省長官
名誉委員　パルマー・デポーリス
　ソルトレイク市長
名誉委員　ランディ・ホリウチ　米国ソルトレイクカウンティ
　コミッショナー
名誉委員　ジェイ・C・ウーリィ
　米国ユタ州政府観光局局長
総括委員　オサム ホシノ　米国ユタ州政府観光局副局長
委　　員　リチャード・デービス
　ソルトレイクシティコンベンション
　ビジターズビューロー社長
　キャロル・ニクソン
　米国ユタ州政府文化局ディレクター
　サム・マーフィ　デルタ航空地区営業部長

CONTENTS

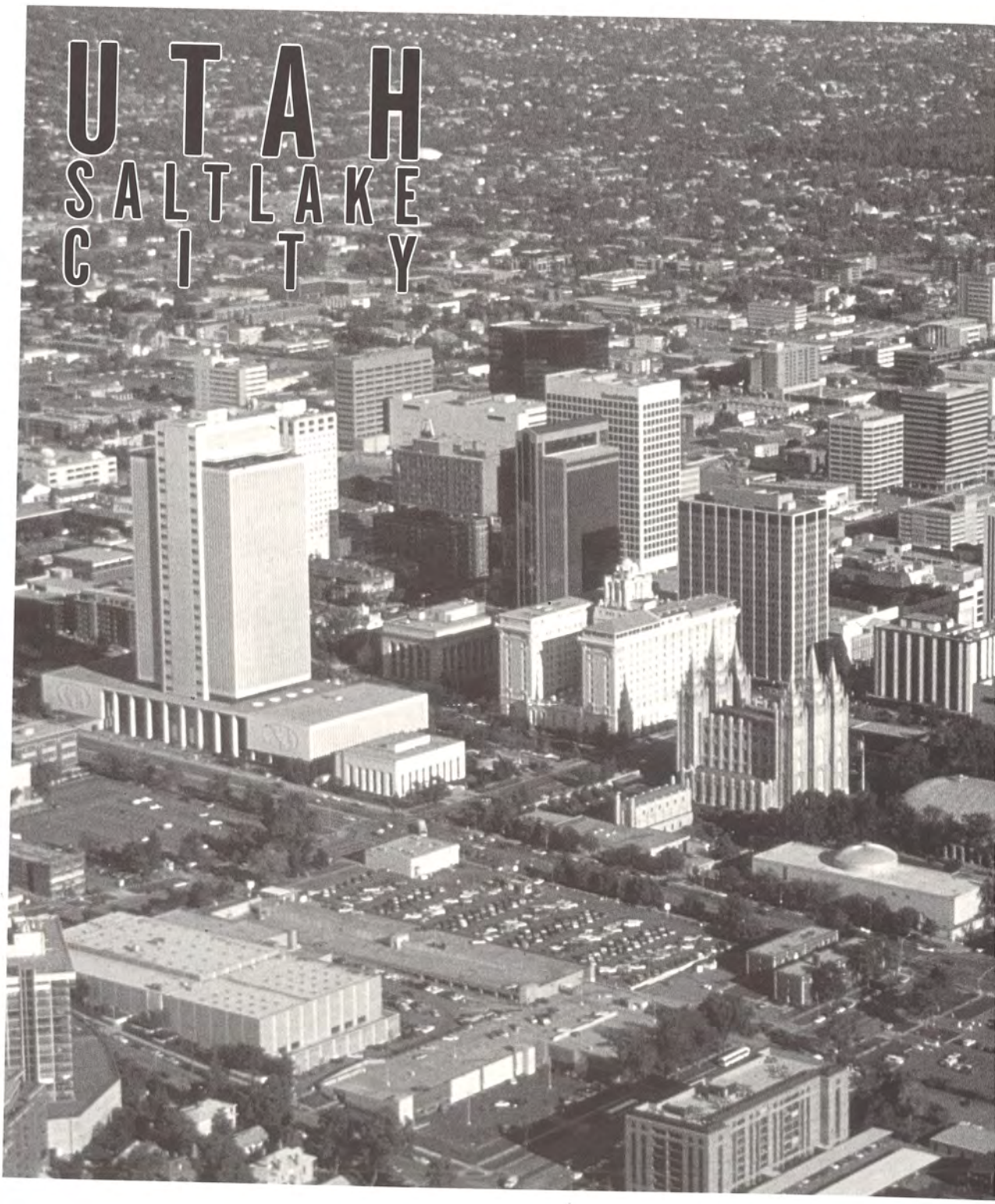
'91アメリカジャパンウィークプログラム……8
UTAH SALTLAKE CITY……10
〔ユタ州の紹介・開催会場の紹介〕
OPENING……18
〔オープニングレセプション・オープニングセレモニー〕
PERFORMANCE……20
〔郷土芸能・伝統文化〕公演・実演
〔松本DAY〕……26
〔島根NIGHT〕……27
CLOSING……28
〔クロージングセレモニー〕
EXHIBITION……30
〔伝統文化・工芸〕展示・実演
FESTIVAL……36
〔野外フェスティバル〕
SPORTS……38
〔ソルトレイククラシックマラソン〕
〔野球親善試合〕
〔つなひき大会〕
SPECIAL……40
〔スペシャルイベント〕
●JRナイト ●長保有紀・タバナクル合唱団ジョイントコンサート
●鈴木メソッドジョイントコンサート ●よさこい鳴子踊り講習会
VISITATION……44
〔身障者施設・学校訪問・表敬訪問〕
●ユタ州政府・ソルトレイク市訪問・その他
参加団体目次……48
JAPANESE TRADITION……49
〔参加団体プロフィール、インプレッション〕
参加者名簿……78
TOPIC……86
〔アメリカジャパンウィークの話題〕
HISTORY OF JAPAN WEEK……90
〔ジャパンウィークの実績〕
AMERICA JAPAN WEEK 1992……92
〔次回開催地の紹介〕
'91 AMERICA JAPAN WEEK STAFF……94
EPILOGUE……96
〔編集後記〕

第1回 アメリカ ジャパンウィーク　プログラム

会　場/日　時	5月24日(金)	5月25日(土)	5月26日(日)	5月27日(月)
キャピタルシアター 郷土芸能・伝統文化 公演・実演		17:30～オープニングレセプション 19:00～オープニングセレモニー 倉敷天領太鼓保存会 宮津おどり振興会 長保有紀 服部早苗 由布院神楽保存会		
プロミスドバレイ プレイハウス 郷土芸能・伝統文化 公演・実演				19:00～ 高松市民よう協会 千草会 善通寺龍神太鼓
シンフォニーホール 郷土芸能・伝統文化 公演・実演			19:00～ 千草会 大正琴・琴真会 倉敷素隠居踊り保存会 由布院神楽保存会 倉敷天領太鼓保存会	14:00～ 「松本DAY」 ㈳才能教育研究会 菊水流日本吟道会 松本きもの研究会 全日本大正琴指導者協会
アートセンター 伝統文化　展示実演			安達原玄写仏の会 書道・北游会	
ソルトパレス 展示会場 伝統文化 展示・実演			小原流 ㈳日本和紙絵画芸術協会 ならや国際芸術交流協会 日本春秋書院 長野県・松本市 ㈱雲井 木目込人形 伸彩会 煎茶道方円流長野支部 西三河彫匠会 九谷の町文化使節団 京都商工会議所食品名産部会 ㈶今日庵 ニューキモノ亜巫女	
トロリースクエア 郷土芸能・伝統文化 実演			14:00～ 大正琴・琴真会 倉敷素隠居踊り保存会	
展示			日本の凧の会	
その他　イベント フェスティバル	JRナイト (前夜祭) レッドライオンホテル 19:00～ 宮津おどり振興会 ジェイウエルチ合唱団 タップダンス JR西日本	ソルトレイク クラシック・マラソン リバティパーク マラソン/5KM、10KM	タバナクル大聖堂 長保有紀・タバナクル合唱団 ジョイントコンサート 鈴木メソッド ジョイントコンサート アセンブリーホール	野球親善試合 ダークスフィールドスタジ 広島経済大学 VS. ユタ州立大学 VS. ブリガムヤング大学

5月28日㈫	5月29日㈬	5月30日㈭	5月31日㈮	6月1日㈯
	19:00～ 大正琴・琴名流 橘流総本部 緒方三郎太鼓座 宮坂流津山銭太鼓保存会	19:00～ 1部「島根NIGHT」 安来節保存会 掛合太鼓保存会 浜田市石見神楽連絡協議会 2部 智超法気功 LDS JAPAN	19:00～ よさこい祭振興会 LDS JAPAN 日本きもの文化使節団 日本音楽合奏団 備中神楽総社社中	クロージング セレモニー ソルトパレス コンベンションホール 14:30～ 1部 日本武道代表団 2部 日本春秋書院 備中神楽総社社中 綴子下町無形文化財太鼓保存会 よさこい祭振興会
19:00～ 正絃社 大山僧兵太鼓 高松市民よう協会 善通寺龍神太鼓	12:30～ 正絃社 越中城端麦屋節新声会 大分県九重町餅搗踊保存会	12:30～ 日本音楽合奏団 智超法気功 大分県九重町餅搗踊保存会 緒方三郎太鼓座		
※5/27「松本DAY」続き 真派青山流青山会 正流実寿々会 松本民踊連盟				
				●
				●
●				
				●
	19 :00～ 大分県九重町餅搗踊保存会 越中城端麦屋節新声会			12:00～ よさこい祭振興会
野球親善試合 ダークスフィールドスタジアム 広島経済大学 VS. ハイスクールオールスターズ			日本の祭り・実演 伊奈の綱火・日本の凧の会 よさこい祭振興会 綴子下町無形文化財太鼓保存会 シュガーハウス パーク 20:00～	

標高1,300メートルの「ユタ州・ソルトレイクシティ」で開催された、



回アメリカジャパンウィーク。

MEMORY OF UTAH

'91年5月25日から6月1日まで、第1回 アメリカジャパンウィークが「ユタ州・ソルトレイクシティ」で開催されました。
雄大なロッキー山脈のすぐ西側に位置する標高1,300メートルの高原都市での文化フェスティバルは、
豊かな自然と寛大な人々に迎えられて開幕。
高原都市に数々の爽やかな感動を呼び起こしました。
日米の友好親善と、日本の伝統文化に対する理解をより一層深めることができたアメリカジャパンウィークでした。

UTAH SALTLAKE CITY

静かなユタ州・ソルトレイクシティに、感動を呼

1

2

共感を広げたジャパンウィーク。

❶州議事堂
❷ソルトレイクシティ夜景
❸モルモン教会
❹スノーバード
❺This is the place
❻メインストリート
❼タバナクル大聖堂
❽グレートソルトレイク
❾ステートフラッグ
❿タバナクル合唱団

ステージに残る、伝統芸と技の余韻。

ソルトパレス

ソルトレイクシティの中心部に位置し、コンベンション、コンサート、スポーツのメイン会場として使われています。1Fにある13,000名収容のアコードアリーナは、プロバスケットチーム「UTAH JAZZ」の公式戦が行われたり、マイケル・ジャクソンなどの世界的に有名な歌手のコンサートも頻繁に行われています。
茶道・華道の実演、展示会場(200名収容)や、伝統文化・工芸の実演展示の会場(300名収容)として使用されました。

アートセンター

アートセンターは、格調高く、現代美術の展示場として使用されています。アメリカジャパンウィークでも、日本を代表する伝統文化、工芸の実演、展示の会場がこのアートセンターで行われました。

キャピタルシアター

1913年に建てられた、ソルトレイクシティでは最も格調の高い劇場です。アメリカの有名な「バレイウエスト」のホームシアターであり、オペラやCAT'S、レ・ミゼラブルなどのミュージカルもここで行われます。このキャピタルシアターでは、伝統文化・郷土芸能の特別公演が披露されました。(2,000名収容)

トロリースクエア

トロリーカーの駅を再開発した大変ユニークなショッピングセンター。高級ショップ、レストラン、映画館などがある市民の交流の場です。ここでは伝統文化・郷土芸能の実演と、日本の祭りの展示が行われました。

プロミスドバレイ・プレイハウス

1905年に建てられたこの劇場は、末日聖徒イエス・キリスト教会(モルモン教)の手により何百万ドルもかけた修復作業を経て、もとのオルフェウム劇場から蘇りました。ソルトレイクのコミュニティにたくさんのステージ・パフォーマンス、クラス、セミナー、ワークショップを提供しています。このプロミスドバレイ・プレイハウスでは郷土芸能・伝統文化の公演が行われました。

シンフォニーホール

ソルトパレスコンベンションセンターの一角をしめるシンフォニーホールは、全米でTOP10に入るシンフォニー・オーケストラの本拠地であるとともに、世界で最も優れた音響を持つ現代のコンサートホールのひとつです。12,000平方フィート以上の敷地に、24カラットの金箔と1マイルに及ぶ真鍮の手摺が内部の装飾を引き立てています。このシンフォニーホールでは「松本DAY」をはじめとする郷土芸能・伝統文化の公演が行われました。

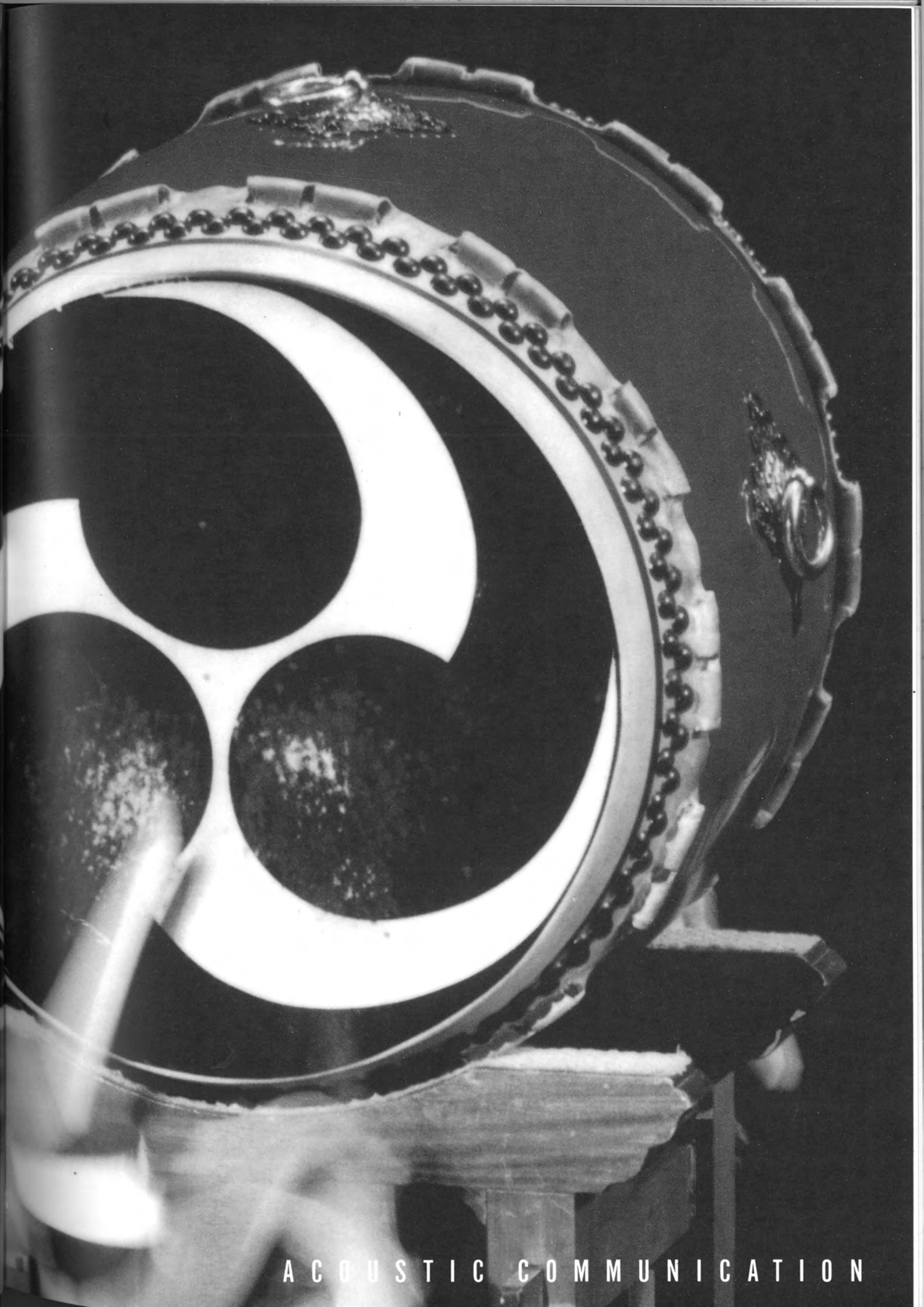
生きた日本の文化を伝える。

本物に触れることへの感動。

悠久の歳月にわたって磨かれ、受け継がれてきた技のみが持つ力は、

その技を目の当たりにする人のこころにひびく。

継承された巧みは、時と国を超え、その地に感銘を呼び起こすことだろう。



ACOUSTIC COMMUNICATION

オープニングレセプション・セレモニー

大盛況の中で行われたオープニングレセプションとセレモニー。
レセプションでは、ユタ州出身のタレントであるケント・デリカット氏(ユタ州政府民間大使)が司会を務め、
日米約400名の列席のもと茶道の実演などとともに、なごやかなムードで行われました。
オープニングセレモニーでは日本側より松田岩夫名誉理事長 代行、
米国側よりノーマン・H・バンガター名誉委員長の開会宣言により、アメリカジャパンウィークの幕が開けました。

〔出席者〕

■日本側

名誉理事長代行／松田岩夫 衆議院議員
松田名誉理事長代行令夫人
時野谷 敦 在サンフランシスコ日本国総領事

名誉理事／フリッツ・M・シュミッツ
米国商務省観光局・日本アジア地区支局長
和合正治 松本市長

理事／本田勇一郎
西日本旅客鉄道株式会社常務取締役
柴田忠男 株式会社日本旅行常務取締役

事務局長／澤邊 宏

■米国側

名誉委員長／ノーマン・H・バンガター ユタ州知事
バンガター名誉委員長令夫人

名誉委員／スタンレイ・E・パリッシュ
米国ユタ州政府商務省長官

名誉委員／バルマー・デポーリス ソルトレイク市長

名誉委員／ランディ・ホリウチ
米国ソルトレイクカウンティコミッショナー

名誉委員／ジェイ・C・ウーリィ 米国ユタ州政府観光局局長

委員／リチャード・デービス
ソルトレイクシティコンベンション・ビジターズビューロー社長

総括委員／オサム・ホシノ ユタ州政府観光局副局長

演

受け継がれた伝統は結晶となり、ステージで開花する。

郷土芸能・伝統文化〈公演・実演〉

●開催会場：キャピタルシアター
プロミスドバレイプレイハウス
シンフォニーホール

松本DAY

●開催日：5月27日（月曜日）
●開催会場：シンフォニーホール

島根NIGHT

●開催日：5月30日（木曜日）
●開催会場：キャピタルシアター

クロージングセレモニー

●開催日：6月1日（土曜日）
●開催会場：ソルトパレス
コンベンションホール

●橘流総本部

●緒方三郎太鼓座

PERFORMANCE

1

2

❶、❷日本音楽合奏団　❸大正琴琴名流　❹宮坂流津山銭太鼓保存会　❺服部早苗　❻千草会　❼由布院神楽保存会

PERFORMANCE

❶備中神楽総社社中　❷正絃社　❸越中城端麦屋節新声会　❹善通寺龍神太鼓　❺九重町餅搗踊保存会

松本DAY

松本市とソルトレイク市が1年がかりであたため続けてきたイベントです。姉妹都市提携33年目に行われたこの「松本DAY」は相互理解と友好親善のさらなる発展につながりました。

❶オープニングセレモニー/（左から2人目）松本市長・和合正治（中央）ソルトレイク市長・パルマー・デポーリス
❷松本民謡連盟
❸菊水流日本吟道会
❹正派実寿々会
❺松本きもの研究会

島根NIGHT

神話の国・島根を米国民に紹介しました。澄田知事をはじめとする島根県の参加者がユタ州へ赴き、友好の輪を深めました。これを契機に両県・州の地域間交流を今後より一層進められていくことが約束されました。

❶オープニングセレモニー/(左)島根県知事・澄田信義(右)ユタ州政府観光局局長・ジェイ・C・ウーリィ
❷浜田市石見神楽連絡協議会
❸掛合太鼓保存会
❹安来節保存会

CLOSING

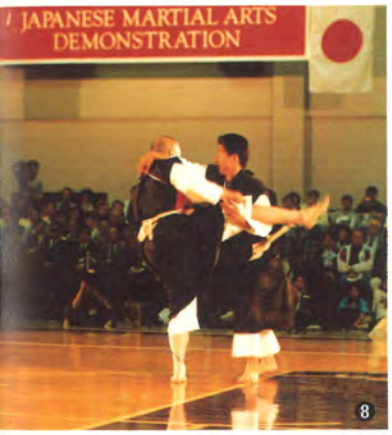
ユタ州政府商務省長官／スタンレイ・E・パリッシュ氏

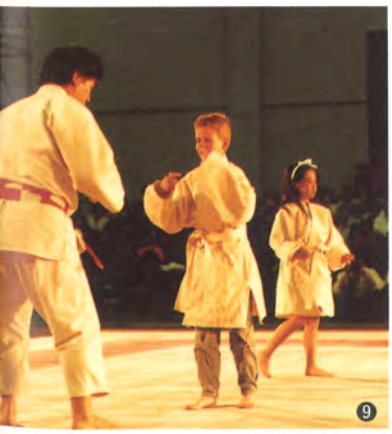
日本武道代表団・団長／山下元利氏

名誉委員／ジェイ・C・ウーリィ氏

事務局長／澤邊　宏氏

❶花束贈呈 ❷、❸、❹、❺、❻、❼、❽、❾、❿、⓫、⓬日本武道代表団 ⓭備中神楽総社社中 ⓮よさこい祭振興会 ⓯日本春秋書院





クロージングセレモニー

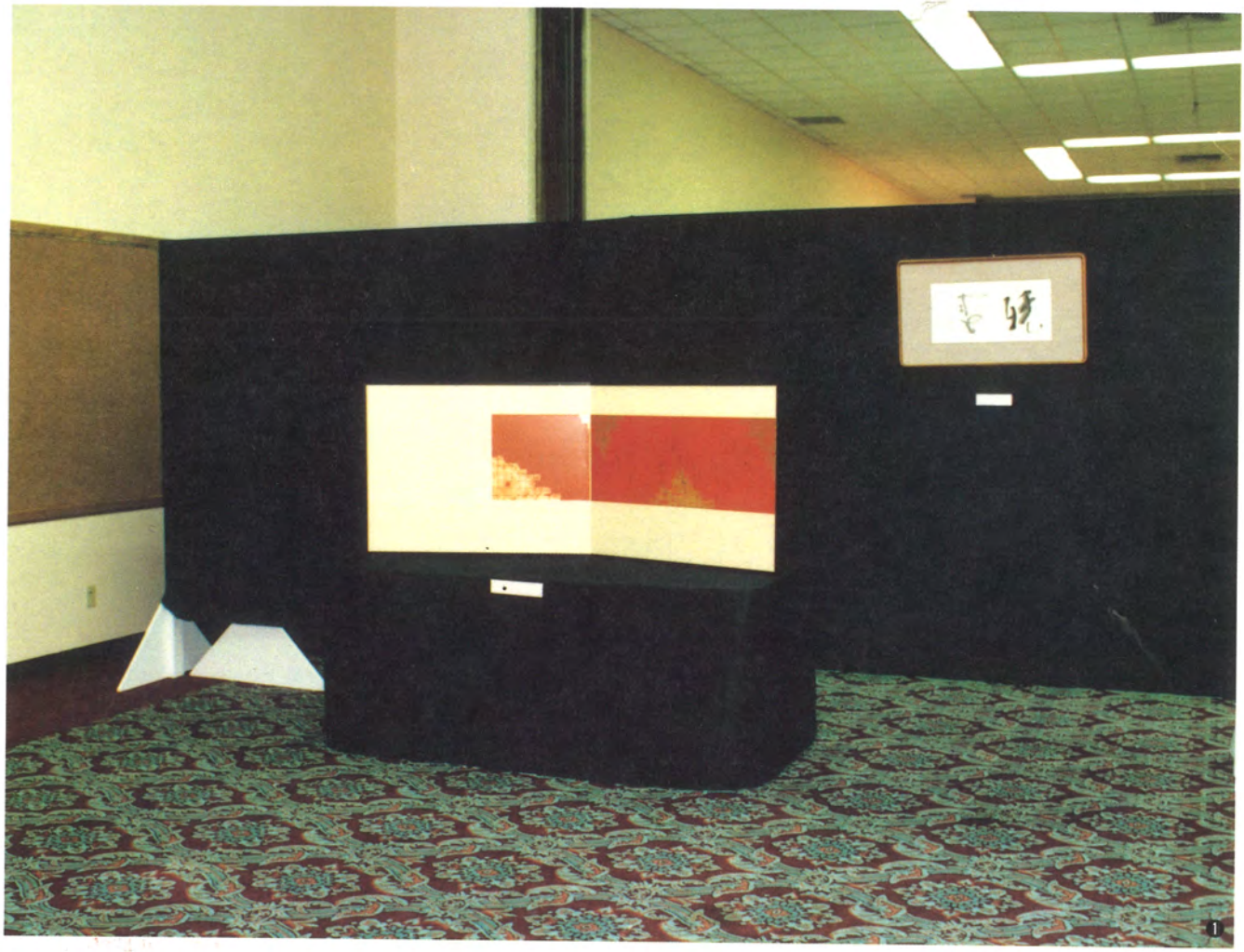
一週間を締めくくるイベントとして、ソルトパレスコンベンションホールに3,000名の方々を集め、二部構成で行われました。
一部は、日本武道代表団による、日本古来から伝わる武道の演武を披露。
二部では日本全国の郷土芸能、祭りの紹介を中心に行われました。
また、日本春秋書院からユタ州教育委員会を通じ学校へ書がプレゼントされたほか、
二日間の猛特訓の末、日米合同のよさこい鳴子踊りの披露など、盛りだくさんの内容で充実したものとなりました。
最後は日米入り乱れての踊りの中、今後の交流と再会が約束され、第1回アメリカジャパンウィークの幕が降ろされました。

静に息づく技が、間の妙を描く。

伝統文化・工芸〈展示・実演〉

●開催会場：ソルトパレス
アートセンター
トロリースクエア

❶、❷安達原玄写仏の会
❸、❹北游会



1

❶、❸ならや国際芸術交流協会
❷、❺小原流後藤昌宏社中藤美会
❹九谷の町文化使節団
❻煎茶道方円流長野支部

［松本展］

❶、❸、❹、❻、❼松本市展示
❷煎茶道方円流長野支部
❺木目込人形
❽株式会社雲井

3

4

5

6

7

8

自然の美に溶け込み、伝統の芸が映える。

野外フェスティバル

- 開催日：5月31日（金曜日）
- 開催会場：シュガーハウスパーク

❶、❷綴子下町無形文化財太鼓保存会
❸1万人を超す大観衆
❹よさこい祭振興会
❺打ち上げ花火風景

スポーツは、通じ合える楽しみを誘う。

ソルトレイク クラシック マラソン

- 開催日：5月25日（土曜日）
- 開催会場：ソルトレイクシティ・メインストリート〜リバティパーク

野球親善試合

- 開催日：5月27日（月曜日）、28日（火曜日）
- 開催会場：ダークスフィールドスタジアム

つなひき大会

- 開催日：5月25日（土曜日）
- 開催会場：リバティパーク

❶、❷ソルトレイククラシックマラソン
❸野球親善試合・広島経済大学
❹つなひき大会・広島経済大学

響きあう交流が、爽やかな感動を創出する。

〈スペシャルイベント〉

JRナイト

- 開催日：5月24日（金曜日）
- 開催会場：レッドライオンホテル
- JR西日本親善団700名と米国ユタ州民200名の合計900名による〝アメリカジャパンウィーク前夜祭〟として行われた日米親善パーティ。

長保有紀・タバナクル合唱団ジョイントコンサート

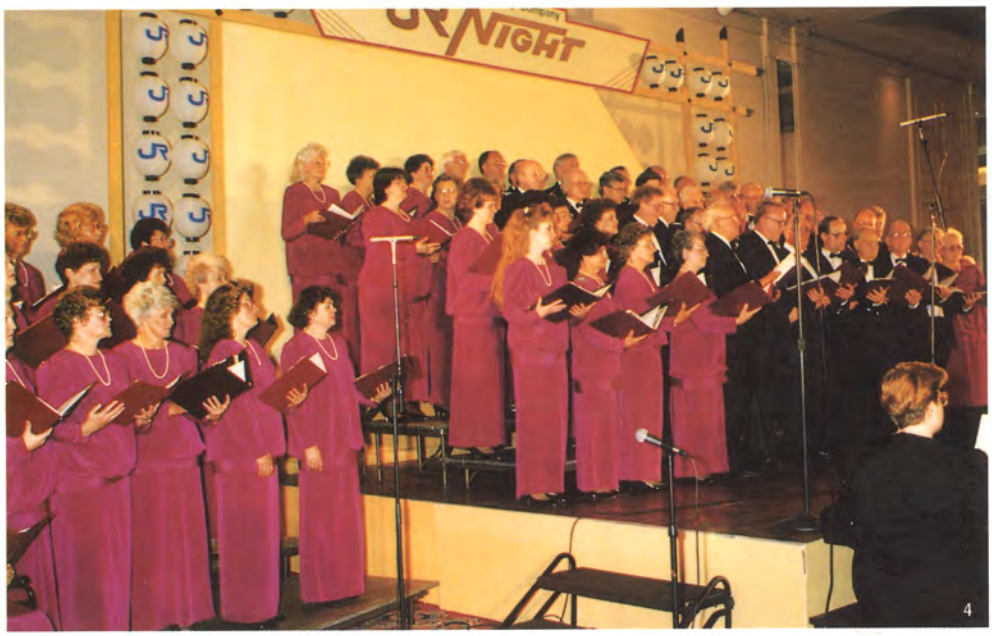
- 開催日：5月26日（日曜日）
- 開催会場：モルモン教会・タバナクル大聖堂

鈴木メソッドジョイントコンサート

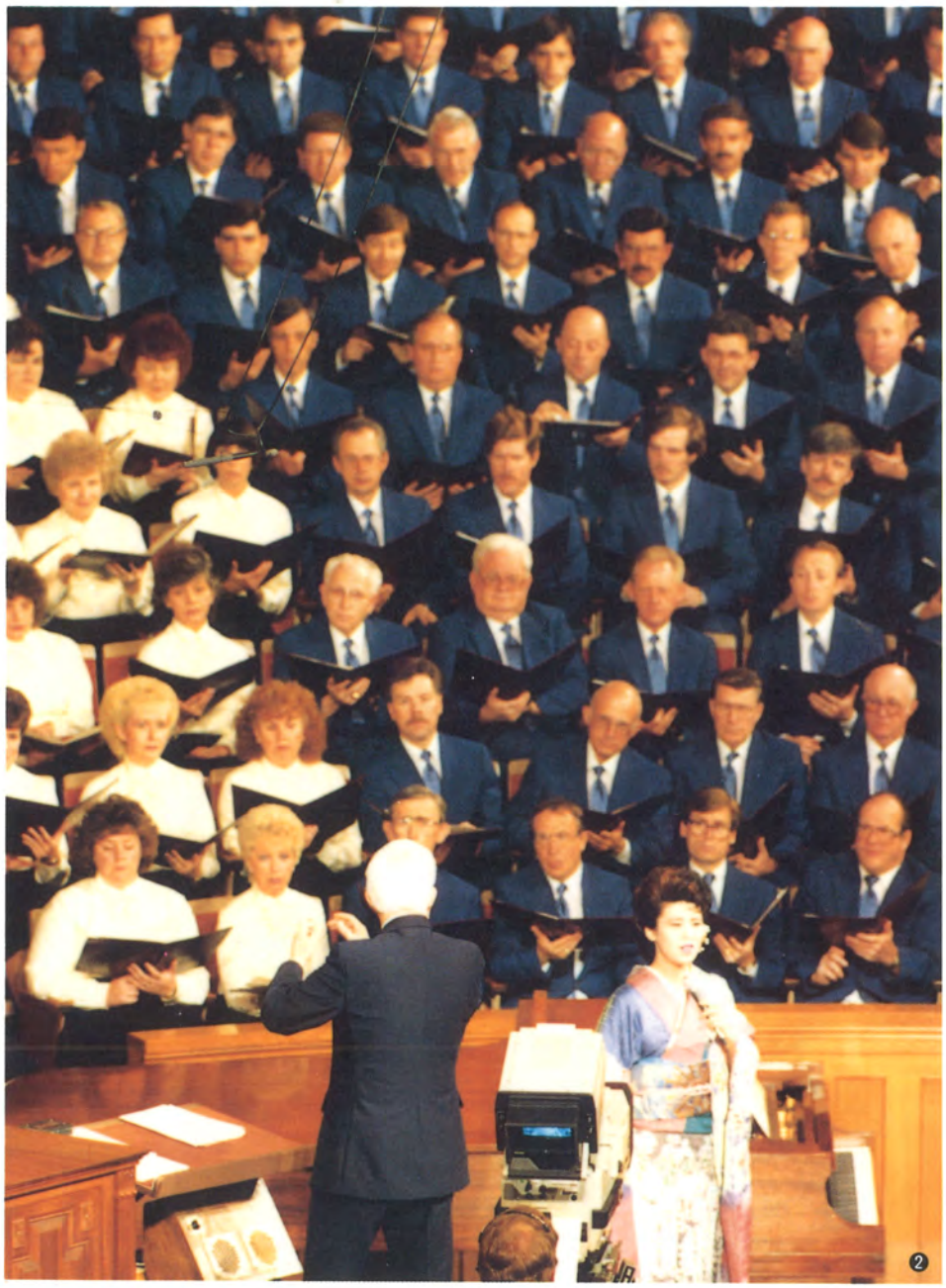
- 開催日：5月26日（日曜日）
- 開催会場：モルモン教会・アセンブリーホール

よさこい鳴子踊り講習会

- 開催日：5月29日（水曜日）、30日（木曜日）
- 開催会場：ユニオンパシフィック・ソルトレイク駅



❶JRナイト/松田岩夫名誉理事長代行あいさつ
❷JRナイト/本田勇一郎西日本旅客鉄道株式会社
常務取締役あいさつ
❸JRナイト/ミス・ユタ州のJennifer Nakkenさんから
参加証の贈呈
❹JRナイト/ジェイウェルチ合唱団
❺JRナイト/宮津おどり振興会
❻JRナイト/タップダンス



❶タバナクル大聖堂
❷長保有紀・タバナクル合唱団ジョイントコンサート
❸、❹、❺(社)才能教育研究会
❻、❼、❽よさこい鳴子踊り講習会

訪

言葉をこえ、ふれあい、わかり合える。

身障者施設・学校訪問・表敬訪問

Columbus Community Center
Primary Children's Hospital
その他

ユタ州政府・ソルトレイク市訪問

❶ユタ州政府表敬訪問・ユタ州議事堂知事室
❷松本市・ソルトレイク市市民交流会
❸Culumbus Community Centerでの大正琴琴名流の演奏
❹アメリカジャパンウィーク参加者からユタ州知事のノーマン・H・バンガター氏へ記念品の贈呈
❺Primary Children's Hospitalでの長保有紀さんによる日本の歌の披露と交流会

言葉を超えて通じあう。

人が演じ、人が観る。人が創り、人が観る。

演じるのも、創るのも人なら、観るのも人、人間どうしだ。

言葉や気質は違うがヒューマンな感性はみな変わりはないはず。

だから通じあえる。

人と人との間は、たとえ言葉がなくても、分かりあえるものなのかもしれない。

HUMAN COMMUNICATION

参加団体目次

'91 アメリカジャパンウィーク

秋 田 県▶綴子下町無形文化財太鼓保存会……49
茨 城 県▶伊奈の綱火……49
東 京 都▶小原流 後藤昌宏社中 藤美会……50
日本武道代表団……50
社団法人日本和紙絵画芸術協会……51
ならや国際芸術交流協会……51
日本春秋書院……52
日本の凧の会……52
日本きもの文化使節団……53
LDS JAPAN……53
神奈川県▶安達原 玄 写仏の会……54
服部早苗……54
智超法気功……55
長 野 県▶アメリカジャパンウィーク松本市実行委員会 55
松本市・松本市教育委員会・松本商工会議所
松本市ソルトレークシティ姉妹提携委員会・松本観光協会
松本深志ライオンズクラブ・松本青年会議所
松本地区ガールスカウト・ボーイスカウト地区連盟
長野放送・信州大学
株式会社雲井……56
菊水流日本吟道会……56
木目込人形……57
社団法人才能教育研究会……57
伸彩会……58
真派青山流青山会……58
正派実寿々会……59
煎茶道方円流長野支部……59
全日本大正琴指導者協会……60
松本きもの研究会……60
松本民謡連盟……61
愛 知 県▶千草会……61
西三河彫匠会……62
日本音楽合奏団……62
富 山 県▶越中城端 麦屋節新声会……63
石 川 県▶九谷の町文化使節団……63
滋 賀 県▶正絃社……64
京 都 府▶京都商工会議所 食品名産部会……64
財団法人今日庵……65
ニューキモノ亜巫女……65
宮津おどり振興会……66
奈 良 県▶大正琴琴真会……66
大 阪 府▶長保有紀……67
北游会……67
岡 山 県▶倉敷素隠居踊り保存会……68
倉敷天領太鼓保存会……68
大正琴琴名流……69
橘流総本部……69
備中神楽総社社中……70
宮坂流津山銭太鼓保存会……70
広 島 県▶広島経済大学……71
鳥 取 県▶大山僧兵太鼓……71
島 根 県▶島根県……72
掛合太鼓保存会……72
浜田市石見神楽連絡協議会……73
安来節保存会……73
香 川 県▶善通寺龍神太鼓……74
高松市民よう協会……74
高 知 県▶よさこい祭振興会……75
大 分 県▶緒方三郎太鼓座……75
九重町餅搗踊保存会……76
由布院神楽保存会……76

JR西日本……77

（都道府県別50音順）

綴子下町無形文化財太鼓保存会

郷土芸能(秋田県)

ギネスブック認定の世界一の大きさを誇る大太鼓で有名な「綴子大太鼓祭り」は、700年位前、鎌倉時代の弘長2年(1262年)頃に始まったと伝えられている。田植え後の虫追いや雨乞い、五穀豊穣、豊年満作、日和上げ神徳報謝の祈願の真心が含まれているこの大太鼓の行事は、獅子踊り、出陣行列、奴舞、ヤシパリなどと共に、子々孫々に受け継がれている。上町と下町が太鼓の大きさを競い合い、今では下町の大太鼓が直径3.71m、胴長4.32mでギネス認定世界一。今回は輪送事情で直径2.49m、胴長3.18mの大太鼓で参加しました。

IMPRESSION

はじめての海外公演ということでもあり熱のこもった舞台になりました。アメリカとの友好・親善にも、少しはお役に立てたのではないかと思っています。今後も、機会があればぜひ、海外公演に参加させていただきたいと思います。

伊奈の綱火

花火公演(茨木県)

「伊奈の綱火」は古い歴史と伝統を持つ民俗芸能で、約400年前から奉納されている神事行です。国の指定重要無形民俗文化財で、日本に唯一の文化遺産です。内容は、夜間空中であやつる人形劇で、仕掛け花火の照明によって、その姿を表現させる演技で、野趣豊かなものです。笛太鼓などのおはやしに合せて、しかも幻想的な美しさを誇っています。海外公演は初めてでしたので、一人一人が感動的な公演となりました。この公演を通じて国際的文化交流と世界平和に貢献できたのではないかと思っています。

IMPRESSION

帰国前夜、私たちはサンフランシスコの「一輪」に集まり改めて祝杯をあげた。その時、多くの団員から「綱火を守ってきて本当によかった」と、涙ながらに感慨を打ち明けられた。最高であった。関係者のご努力に謝意を表する。

小原流（後藤昌弘社中藤美会）

生け花実演（東京都）

日本の伝統芸術である華道は、日本独特の風土、生活を背景に、日本でのみ芸術として開花し、今では数千もの流派に展開し隆盛を極めています。その中でビッグ3の1つである小原流は、今年創流96年、全国161支部、海外53支部、会員数130万人の組織です。流派の特徴は、伝統的華道に近代的な〝盛花（もりばな）〟（写景といわれる方法で日本の風地、景観を盛り込む）という形式を付加し、発展させたことでしょう。今回は小原流本部－芸術研究院助教授東京支部幹部後藤昌弘とその社中の会である「藤美会」が日本の伝統芸術を披露しました。

日本武道代表団

財団法人日本武道館 武道演武（東京都）

今回、アメリカ国内では初めて日本の現代武道、柔道、剣道、弓道、相撲、空手道、合気道、少林寺拳法、なぎなた、銃剣道とその源流である古武道の中から、大東流、無雙直傳英信流、柳生心眼甲冑兵法の合計12種目を披露いたしました。

日本の武道は技の修練を通して身体と精神を共に鍛え、人間形成と平和を目指す伝統文化であります。わが国を代表する一流の演武者が武道の「技と心」の真髄をくりひろげました。

IMPRESSION

ジャパンウィークに参加させて頂き、沢山のボランティアの方の協力で、展覧会も成功のうちに終わり、ユタ州の皆様の親切と雄大な自然に触れ、楽しい旅が出来ました。が、残念ながら、共に参加した他の団体の方々との交流がなかったことが心残りです。

(社)日本和紙絵画芸術協会

絵画展示(東京都)

当協会は、日本全国の和紙絵画作家の交流、親睦と和紙絵画芸術の発展、向上に寄与することを目的として、1986年に設立されました。現在、協会員は全国で8,000名を数えるに至っております。過去、作品展は国内では毎年3〜4都市で開催し、本年3月東欧諸国で開催し絶賛を博してきました。今回、第1回アメリカジャパンウィークでは、ユタ州の皆様に和紙絵画の素晴らしさを通じて、日本文化を紹介させていただきました。

ならや国際芸術交流協会

絵画・書の展示(東京都)

ならや国際芸術交流協会は、書道用品、美術工芸品を扱う会社で中国、エジプトなど幅広く海外と取引をしています。今回は2人の画家、書家の作品を紹介しました。画家大野久恵先生は、江戸の華・浮き世絵肉筆美人画及び100号の舞妓などを展示。書家猿田康人先生は、今回特に日本文化を基調とした表現で、素材の紙、墨、筆を板や石膏板、胡粉(ごふん)或いは漆、金箔にそして筆の代わりにノミで、制作いたしました。

IMPRESSION

米国での第一回ということで参加させていただきました。
湾岸戦争という不幸な出来事もありましたが予想以上の参加者が美しいソルトレイクシティという恵まれた環境の下に無事終了する事ができました事を嬉しく思います。

日本春秋書院

書道(東京都)

海外文化交流は、中国、アメリカ、カナダ、フランス、オーストラリアなど世界各国で参加し、今回で16回目。私達は、書道を通じ手本を良く見る「観察力」、字の大きさを的確に把握する「判断力」、そして書くという「実行力」。この3つの能力を培い、実社会に於いても良く見て、適正な判断、そして実行する人間教育を目的とし、警察官、自衛官など官公庁職員を中心に発足。「古典書道」に立脚し、文字の美しさを追求発展に努め現在、大学、各企業、書道塾など約6万人が活躍する書道団体です。

日本の凧の会

凧あげ実演(東京都)

昭和41年11月15日に発足。現在、日本全国及び世界の会員を含めて約1,500名。凧好きな方なら誰でも入会できます。凧を通じて、会員相互の親睦をはかり、日本の凧の伝承発展と、世界の凧の文化交流発展に寄与することを目的としています。

一口に言えば、凧を通じて、皆仲よく遊び、楽しみ、凧の発展に寄与しよう、といったところでしょうか。年3回、日本の凧の会主催の凧あげ大会をはじめ、年2回の例会、年2回の会報の発行配布、各地大会の案内・参加など、凧の普及のための諸活動、協力が主な行事です。

IMPRESSION

世界に誇る日本の伝統凧を展示や凧あげで皆様にご覧いただいた事は光栄に思います。今後においてはもっと広い展示会場や凧あげ会場で、身近かに凧に接していただいて、日本の伝統文化を知っていただきたいと希望します。

日本きもの文化使節団

きものショー（東京都）

日本文化の一つである"きもの"の着付技術、日本舞踊や歌舞伎・時代劇の衣裳の着付などの講師の団体です。アメリカ、オーストラリア、タイ、エジプトなどで"きものショー""日本舞踊"を披露し、国内でも外国人に"きものショー"を通して日本のきもの文化の素晴らしさを知って頂くため活動しています。今回も、平安時代から現代までの衣裳の数々を着付の技術を通して、きもの文化を広めたいと意欲を燃やして参加いたしました。

IMPRESSION

ソルトレイクシティでのジャパンウィークに 参加でき 大変良かったと 思って居ります。日米の交流に参加し旅行とショーの参加で一層の思い出になりました。又今後も参加したいと思います。普通の旅行では体験できない地元の人々の心にふれ貴重な経験でした。只、参加の日本人のエチケットとマナー等をもう少し出発前に指導するべきと思います。今後、益々そういうことが必要ではないかと感じました。

LDS JAPAN

日本人の心の歌、ピアノ（東京都）

末日聖徒イエス・キリスト教会（The church of Jesus Christ of Latter Day Saints）の会員は音楽を愛する民です。
日本に於ける教会員の音楽レベルも高いものです。今回のAMERICA JAPAN WEEKでの公演は、教会内外で音楽活動をしている2人の女性により、日本人に歌い継がれてきた「日本の歌」をご紹介しました。

安達原玄写仏の会

写仏展示(神奈川県)

仏教美術は日本の風土に培われた東洋の心であると同時に、日本伝統文化の源流でもあります。今回は、生活の中に根ざした平和への祈りを込めて一般の人々によって描かれた作品を展示しました。一本の描線は短くても、これを繋ぎあわせると大宇宙と自分自身の内なる小宇宙とを結ぶ大きな力となります。ボルチモア、グラスゴーなどで展示仏陀を描くことを通して平和への願いは各地に広まり大きな河の流れとなりました。

服部早苗

キルトファッションショー(神奈川県)

サナエアートスタジオを主宰して14年になります。アメリカンパッチワークの手法で日本の伝統文様一筋に制作している作家は、恐らく世界で私只一人でしょう。キルトデザイナーとキルト制作者として、日本の古典文様のキルトを通して、日本の文学、歴史、習慣、風俗、美術、芸能、気候までも紹介する事があります。

華麗な日本美の再現に多くの賛同を得て、現在直弟子250名。1990年の国内展では入場者10万人を超えました。私は、手縫いの暖かい手法で、日本文化と世界との平和のかけ橋になりたいと思います。

智超法気功

気功実演（神奈川県）

智超法気功（気功瞑想法）は、大宇宙に遍満する生命エネルギーを体内に採り入れ、生れた時から有する先天的エネルギーを強化補充し、健康と長寿を増進する技法です。
個人意識の覚醒を目的とした、気で悟る「気功瞑想法」（たま出版）による著作は、日本で初めての気功による高級内丹静功法として、心の浄化を求める人達の福音になっています。

IMPRESSION

今回の参加は、多くの見知らぬ内外の人達との交流の輪を拡げ、帰国してからも友好を深めています。特に、ソルトレイク市でお世話して下さいました ボランティアの皆様方の御好意は、美しく、清らかなロッキー山脈の真白き雪と共にいつまでも思い出として深く印像に残っています。有難うございました。

松本市（アメリカジャパンウィーク松本市実行委員会）

姉妹都市交流団（長野県）

日本のほぼ中央にある松本市は、人口約20万。3,000m級の北アルプス連峰をはじめ、四方を山々に囲まれた自然豊かな高原の都市です。その自然に囲まれた観光都市まつもとには、今から400年前に築城された国宝松本城が街のシンボルとしてそびえたち、約100万人の観光客が毎年訪れています。又、産業面においては、家具・楽器などの木工業、漬物・菓子などの食品工業等郷土色をもりこんだ伝統産業とともに、精密産業の街としても全国的に有名です。
松本は歴史を伝える〝やすらぎの街〟です。

IMPRESSION

200余名の市民訪問団による姉妹都市訪問は初のケースであり、かつ実演、公演等を他都市の方々と共に実施でき大変有意義な機会となりました。期間中姉妹都市ならではの友好歓迎を受け参加者一同「Sister City」を充分満喫しました。

株式会社雲井

彫刻と御輿の組立て(長野県)

神社・仏閣建築を中心に、日本はもとより海外にも日本の伝統和風の美を建築しています。特に海外建築物は次のとおりです。

1976年9月　米国ミズーリー州セントルイス市日本茶室建築

1978年6月　米国コロラド州デンバー市書院建築、大鼓橋、平治門、庭園建築

1981年8月　米国イリノイ州シカゴ市日本式茶室、数寄屋作り、日本庭園工事、吾妻家、平治門、大鼓橋建築

1983年12月　朝鮮平壌市迎賓館、官邸他3件建築

今回は特に姉妹都市であるソルトレイク市のために、現地にて御輿を製作いたしました。

菊水流日本吟道会

詩吟・詩舞(長野県)

当流派は間もなく30周年を迎えます。昭和50年、51年に防衛庁主催の中央音楽祭(武道館)に60名が出演、その後も全国各地の自衛隊音楽祭に10数回出演しています。昭和54年に東京・歌舞伎座で公演、出演者1,000名でした。昭和56年より毎年ハワイ、フランス、オーストラリア(ジャパンフェスティバル)、カナダ(2年連続)と文化交流に力を注いで参りました。当回の年令層は3才児から70才迄と幅広く、特に青少年の活躍が目立ちます。流派を挙げて斯道振興に全力投球しています。

木目込人形

木目込人形展示(長野県)

長い間大切に受け断がれてきた日本の伝統工芸美を伝える木目込人形は、今から約250年前から始まったと伝えられています。木彫りのボディに溝をつけ、金らんなどの布地をその溝に入れ込むことから「木目込」といわれます。幼い頃から親しんできた人形を、自分の手で作り楽しむことは、本当にうれしいものです。若者からお年寄りまで大勢の仲間がいて、人形作りを通して料理、教育、社会問題など人形以外のことも数多く語らい、学びながら人の輪が広がっています。

(社)才能教育研究会

バイオリン、ピアノ(長野県)

(社)才能教育研究会は、1946年より鈴木鎮一会長の「どの子も育つ、育て方ひとつ」という「母国語教育法」に基づき、バイオリン、ピアノ、チェロ、フルートで幼児からの音楽教育を行っているユニークな教育団体です。「スズキ・メソード」の名で国内はもとより広く世界に普及し、単なる音楽教育の域を超えた人間教育として注目を集めています。現在アメリカでは、およそ20万名の生徒がレッスンを受けています。

伸彩会

七宝焼(長野県)

伸彩会代表の堀米伸子を中心に国内、海外に広く七宝工芸美術作品を通じ文化交流を進めている団体。1978年ビエンナーレ国際七宝展入選より1990年まで毎年パリ、モントリオール、北京、イギリスなどで入選、入賞をしています。アメリカは1988年ワシントン州バンクーバーに150点展示、1990年長野県と姉妹州のミズーリー州セントルイスでのジャパンフェスティバルで延べ300人の市民に10日間七宝美術の美しさ、楽しさを紹介し、 多くの人々に喜ばれました。

真派青山流青山会

華道(長野県)

日本アルプスの麓、松本市で創流され、大自然からの学びをモットーとしている華道の流派。その源流は日本の皇室から発祥されていること(青山御流)に誇りを持っています。現家元(上條香月)を中心に日本の伝統文化の1つである国境のない美しい花で国際交流をはかりたいと念じています。1967年ハワイ以来、ヨーロッパ諸国、カナダ、ソルトレイク市(松本市の姉妹都市)、中国、ソ連、国内ではいけばなインターナショナルのステージ、また留学生とも広く大きな花の心を学び、世界平和を願って交流をしています。

正派実寿々会

琴(長野県)

生田流正派邦楽会の実寿々会(代表 渡辺雅実穂)5名と尺八竹友会2名で編成した合奏団です。このメンバーの中には、1986年(フローレンス)、1987年(アムステルダム)ジャパンウィークに参加して、好評を博した者が含まれています。今回は、特に姉妹都市ソルトレイク市での親善演奏でしたのでより感動的なものとなりました。

煎茶道方円流長野支部

茶道(長野県)

煎茶は中国の明の時代(1600年頃)盛んになり、高僧隠元禅師の来朝(1650年頃)と共に伝来。茶を飲みながら芸術を語る、始祖といわれる売茶翁により形式にとらわれない風雅な煎茶の楽しみが創り出されました。方円流は互譲の心と豊かな人間性を育てる様に、玉露、煎茶、番茶、香煎、紅茶など、お手前を通じ、折り折りのお茶会を通じて深めております。長野県支部は約800名。ジャパンウィークに参加することによって、ソルトレイク市の皆様に少しでも煎茶を楽しんでいただくように努めました。

IMPRESSION

私ども方円流の参加者25名は3泊5日の短かい日々をアメリカで楽しくすごすことができました。

二日間のお茶会では明るく楽しいお国柄に接し国際交流ができ皆さん感激いたしました。ソルトレイクのスノーバードに観光をしロープウェイで山に登り雄大な残雪の多いアメリカンロッキーのながめを楽しみ魅せられ最高に感動いたしました。皆さん満足したアメリカジャパンウィークでした。

全日本大正琴指導者協会

大正琴(長野県)

高齢化社会を迎え、国策レベルで「生涯学習」の重要性が叫ばれる中、大正琴は社会教育の分野でも重要な存在価値を認識していただくまでに成長して参りました。そして今日、地域の音楽、文化活動に欠くことの出来ない身近で重要な文化として、全国各地に仲間の輪が広がっております。一昨年よりスタートした文部省主催「生涯学習フェスティバル」には第1回、第2回と連続出場の栄を賜り、地元での演奏活動はもとより、全国に向けて大きく発展しております。

松本きもの研究会

きものショー(長野県)

「着物を着ていい女になりましょう」を合言葉に、「きもの普及」を続けて20年。着物は我々の祖先が長い年月をかけて完成させた世界に誇る素晴らしい衣裳です。この素晴らしい「きもの」からもう一度「日本の衣の文化」を確かめ、それを基本にして女性の文化向上のために年間3つのイベントを企画しています。着物を着るチャンスを作り、その素晴らしさを体験を通じて実感していただくことを目的としています。3年前にもソルトレイク市の記念行事に参加して「きものショー」を多数の方々にご覧いただきました。

松本民踊連盟

民踊（長野県）

全国各地に古くから伝承されている日本民踊を、中央の講習会で、それぞれの現地の保存会の方々から直接ご指導を受けてきた指導者が、仲間の人達に出来得る限り忠実に伝達するようにつとめています。その土地土地の風俗、習慣、環境の中から生まれた独特の味わいを持った大衆のための文化遺産として、大切に次代へ残してゆきたいとの願いを持って活動を続けております。なお、踊ることによって、若さを保ち、仲間とも親睦を深め溌剌とした人生を享受しています。

千草会

コーラス・お母さんのうたごえ（愛知県）

千草会は1965年に発足しました。広い地域から歌の好きな人達が集まって練習しています。ピアノ、書道、絵画、スポーツ等様々な趣味を持つ個性豊かな会員です。それで千の草、たくさんの種類の草という意味で〝千草会〟と名付けました。ソロでも活躍中の三木先生を中心に色々な演奏会で活動しています。今回は、特別に名古屋音楽大学助教授田中省三先生に指揮をお願いして、楽しいステージになるように企画いたしました。

IMPRESSION

初めての海外公演でした。 英語の 歌を頑張って 練習したかいあって、3,000人収容のシンフォニーホールで総立ちのブラボーを頂いた時には、本当に感激しました。〝音楽に国境なし〟を再び肌で感じる為にも、またいつか参加したいと思っています。

西三河彫匠会

木彫品・木彫り実演(愛知県)

愛知県・岡崎市を中心に西三河に存在する木彫作家40名の会員を持つ集団で、日本伝統工芸士会の会員も多く所属しています。三河仏壇(通産省指定伝統的工芸品)の彫刻の製作、神社・仏閣・山車・神輿等幅広い伝統を受け継ぐ木彫作品の製作に従事しています。この度の実演では、木彫りの写真額等を製作し、木彫りの良さを表現いたしました。

IMPRESSION

ユタ州は治安が良い所と前持って知っていましたので気易く参加出来ました。木彫の展示実演につきましてはテレビ新聞等に大きく報道されその好評さに私自身も驚きました。三日間の実演予定を依頼され一週間に延長して行いました。
通訳の方々のおほねおりで参観者とも充分な交流が出来ました。

日本音楽合奏団

和楽演奏会(愛知県)

EC加盟国の文化交流フェスティバル・ジャパンウィークには1986年第1回イタリア以来、第2回オランダ、第3回西独、第4回フランス、第5回イギリスと毎年参加して、箏、尺八、三絃、横笛など日本の伝統音楽の演奏紹介につとめ、演奏スタイルも振袖、紋付き、はかまの伝統衣裳の正装で古典から現代曲まで幅広いレパートリーで日本文化を紹介し続けてきました。今回の第1回アメリカジャパンウィークは日本楽器の箏、尺八だけのアメリカ民謡の演奏と、日本の代表曲「さくら」、「春の海」ほかを披露しました。

IMPRESSION

ソルトレイクシティ市民のみなさんの献身的なボランティア精神には心を打たれ、参加者たちに対する対応の優しさ、親切さにも我々一同感激しました。また、街の中が清潔に整備された美しさは感嘆するばかりで、心豊かな安らぎを覚える滞在中の感想です。

越中城端麦屋節新声会

民謡(富山県)

今から約800年前、平家の落士が、屋島・壇の浦の戦いに敗れ遠く逃れ安住の地を、越中五箇山に求め住み付き農耕の合間に往時を偲んで唄い踊ったのが始まりと言われている「むぎや節」を始め数多くある五箇山民謡を全国に広めようと大正15年城端町の有志の手によって結成された民謡保存団体です。以来、今日まで60有余年にわたり「むぎや節」を始めとする五箇山の代表的な民謡の保存と伝承に努め、今日に至っています。昭和26年に麦屋節新声会の指導で始まりました城端町「むぎや祭り」も昨年40周年を迎え富山県の2大民謡祭として全国的に有名です。

IMPRESSION

第1回アメリカジャパンウィークを終え、満足のいく公演に、我々一同、こころより喜んでいます。

機会があれば、もう一度、舞台に立ちたいと思っています。

九谷の町文化使節団

伝統文化・工芸(石川県)

日本の代表的な焼物"九谷焼"の主産地である石川県寺井町を広く世界にアピールするための文化使節団です。一昨年より"九谷のふるさとを世界のまちへ"をテーマにして色々な施策に取り組んでいる寺井町が主体となって各種団体からメンバーを選出して海外へ九谷焼の宣伝に出かけています。ヨーロッパジャパンウィークには過去2回参加しています。

IMPRESSION

受け入れ体勢が積極的であり、日本に対して好意的な所でした。イベントには沢山の住民が訪れていただいたことでPR等が行き届いていると分かりますが、その訪れた方々がどのように評価されたのか、又ニュースペーパー掲載等があれば早目に参加団体に知らせて載けたならばよいと思います。

正絃社（せいげんしゃ）

邦楽演奏（滋賀県）

演奏する2曲の作曲者は「野村正峰」正絃社家元で、全国に5万人以上の会員を有し、作曲数は390余りになります。今回はその中の2曲を演奏いたしました。

・双調七章（第一箏　加賀井弘美、第二箏　野村正峰）
双調(G)を基音（富声）とした日本の音階即ち双調陰施と呼ばれる音階を主調として書かれた純器楽曲。「七段譜」（雲井調子）で作曲後低音箏と二重奏曲に改編

・流離の詩（箏　加賀井弘美、尺八　野村正峰）
せまりくる流離望郷の思いを複雑なリズムで激しくうたいあげます。

IMPRESSION

ユタ州の皆様に大変歓迎され、又、日本語の話せる人達がボランティア活動で非常に熱心に対応してくださり、大変うれしく思いました。

京都商工会議所食品名産部会（きょうとしょうこうかいぎしょしょくひんめいさんぶかい）

京都物産展（京都府）

企業と地域を結び、調和のとれた文化首都・京都の構築を進める京都商工会議所内にある17部会のうち食品・名産部会は食品と名産品業界の振興発展を推進する役割をになっています。事業としては、京都の食文化の創造と活性化に寄与するため「京の食文化シンポジウム」の開催や部会員各位の親睦を図るための視察会などを精力的に開催しています。現在の部会員数は1,061名。今回、京都の伝統産品、食品の宣伝紹介とともに文化・観光に関する紹介も行いました。

IMPRESSION

当所は京都の物産の展示・紹介で参加させて頂きましたが、ソルトレイクシティの町並の格調高い美しさや現地の方々の暖かい歓迎と友情に触れ、心洗われる思いが致しました。

前夜祭「JRナイト」の席上、私どもは野村団長及び津田副団長より武者人形一領を当所塚本会頭名にて、バンガター・ユタ州知事殿へ贈呈させて頂き、乾杯の発声の大役まで仰せつかり、誠に誇りに存じあげるものであります。

この素晴らしい催しが、今後ますます盛大に行われ、日米親善の増進と相互理解に大きく貢献していくことを衷心より望むものであります。

財団法人今日庵

茶道実演(京都府)

本法人は千利休の伝統を継ぐ裏千家今日庵に伝わる茶道を保存育成し、かつその精神を一般に普及することにより、日本文化振興に貢献しています。また、千宗室家元(理事長)の提唱する「一盌からピースフルネスを」の精神を海外に於いて実践し、正しい理解の高揚をはかっています。米国内の裏千家組織は本土両海岸地域、中部地域そしてハワイに合計28ケ所の拠点を有しています。

IMPRESSION

今回のこの行事は 専門家が企画しただけに演出は大変素晴らしいものでした。しかし、より文化性の高い会場を使用した方が良いという印象を得ました。米国には、日本に対する関心が高くアメリカ ジャパンウィークはその意味で貴重な試みであったと存じます。またより多くの見学動員数を期待できる地域で開催することが重要かと存じます。

ニューキモノ亜巫女

ニュースタイルのキモノ「亜巫女」の展示(京都府)

茶道・華道を通じ、日本伝統文化の発展に務め、主人が意匠作家という環境の中で、独自の衣裳を探求。海外でのファッションショーなどにも積極的に出掛けて勉強を重ね、現地で求めた様々な生地を用いて、古来からの伝統美を現代感覚にまとめ、誰にでも着られる、新しい装いを考案しております。豊富なアイデアを生かし、1枚1枚すべて手作りで、洋服でも着物でもない新しい"おしゃれ"を提案しようと意欲的な活動を展開中です。

IMPRESSION

着物でもあり、洋服でもある衣裳にふさわしく、現地の方の熱いまなざしに、大変感謝しております。

宮津おどり振興会

郷土芸能(京都府)

京都府宮津市の郷土芸能「宮津おどり」を通じて日本三景の一つ天橋立を広く全国に宣伝することを目的として昭和31年に結成。地元宮津での活動をはじめ、全国各地での催しやテレビ番組などにも数多く出演し、郷土芸能「宮津おどり」を全国に紹介、「ふるさと宮津」をPRすると共に京都府を代表とする民謡おどりとして育てています。民謡「宮津節」と「宮津盆おどり松阪」、九州から伝わったといわれる「あいやえおどり」の3つが組み合わされています。

大正琴琴真会

邦楽(奈良県)

大正琴は、大正2年笛の名手森田五郎により発明され、哀愁を帯びた音色が日本人に好まれ全国に広がり演奏されました。1980年から楽器が改良されるとともに合奏も楽しめるようになりました。琴真会は1984年に結成され奉仕活動の他、クラシックの演奏会にも出演し、日本古謡からオペラ、ミュージカルまで演奏して好評を博しています。東京NHKホール、武道館、大阪城ホールで演奏の他、ならシルク博では現代中国の音楽を紹介しました。フランスベルサイユ祭にも参加。花博では世界のバラの曲をメドレーで演奏しました。

IMPRESSION

モルモン聖歌隊とバスケットチーム、ケントデリカット氏が私の知っているユタでした。トロリースクェアでの演奏後10人余りの人が大正琴を弾きにステージに上り私達の着物にさわる子もありました。ややあってステージに近づいてきた40才位の女性が、昔母が歌っていた荒城の月や月の砂漠をきいて思わず涙がこぼれたと目を赤くして話して下さった時、これだけでも、来て良かったと思い握手して別れました。思い出いっぱいのジャパンウィークでした。ありがとう。

(ほろ馬車で食事したのが印象的だった。)

長保有紀（ながほゆき）

演歌歌手（大阪府）

1985年（昭和60年）アポロンより「女の人生待ったなし」でデビュー。つぼみの期間がややあったが、「大阪無情」という楽曲で「全日本有線放送大賞新人賞」を受賞して以来、「雨やどり」「しのび川」というヒット曲にめぐり会ったおかげで長保有紀という"花"もようやく今、満開の色を見せようとしています。又、デビュー以来ラジオのディスクジョッキーでも活躍しているが、昨年より人気番組の一つ、全国25局ネットTBS「歌うヘッドライト」という生ワイド番組のDJとしても現在活躍中。

IMPRESSION

日本のうた・演歌というものについて、形にはまった考えで見ていましたが、今回、アメリカでいろんな方々に聴いて頂き私が思っている以上に個性があり、すばらしい音楽・うただと感じることができました。
知り合う事の無いはずの、沢山の友達もでき、一つの財産ができた様に思います。

北游会（ほくゆうかい）

書道倶楽部"游"IN UTAH（大阪府）

藤野北濤社中として誕生25年を迎え、伝統書道の研鑽を続け、日本書芸院展覧会、読売書法会を発表の場として活動。他方で、北游会の独自性を育てるため毎年秋に奈良で全会員参加の「北游書道会展」を開催。1990年は「地球環境保全」をテーマに、関西TV、奈良新聞の協力を得て盛会に推進。大阪・心斎橋ソニーサロンで毎年2月に選抜会員による「北游如月会書展」をユニークに展開。展覧会の諸評は概ね、「クリスタルな明るい現代感ある書展」と好評を博しています。

IMPRESSION

主宰の藤野先生はじめ全員が初の渡米ということで不安な点もありましたが、アメリカのイメージを一新させる好機会でした。
高い感性で『書』の展覧会・講習会・パフォーマンスに接せられた現地の皆さんの、本物を見たいという想いと、北游会の前向きの全力投球の『書』の発表姿勢が、相乗効果を高めました。

倉敷素隠居踊り保存会

郷土芸能(岡山県)

倉敷素隠居踊りは、1730年(元禄)の頃に祭の御神幸にお供をしていた大当番(お店の社長)が高齢のため、お供が出来なくなり、やむをえず若い衆に自分達の顔に似せた面をかぶらせて代役をさせたのが始まりです。白髪頭ののっぺりしたお面をかぶり、衣服は牡丹に唐獅子模様のパッチをはき、粋な紅いタスキ掛けという勇ましい姿で両手に渋うちわを持って町の中を歩き子供を追っかけまわす光景は倉敷祭を彩る風物詩となっています。踊りは、御神幸の先頭として踊りながらお供をしたもので、倉敷素隠居踊り保存会の皆さんが熱演しました。

倉敷天領太鼓保存会

郷土芸能(岡山県)

1972年8月倉敷の青年有志達で育成会として発足。1984年4月倉敷の伝統芸能文化として伝承すべく保存会を設立。県内外を問わず年間平均50回余りの演奏活動を行っています。海外では1986年イタリア・リミニ市での国際芸術祭「ミーティング'86」へ参加しました。和太鼓、昔は道具、今は楽器。この日本の古典楽器での新しい音創りを模索しつつ、太鼓を通じ交流を深めて行きたいと思います。ハード&シンプルそして創造をモットーとして…。

IMPRESSION

今回の参加に関しては大変素晴らしい舞台をセッティングいただき、私達の意とする目的が充分果たせたので満足しています。

大正琴琴名流（たいしょうごときんめいりゅう）

大正琴（岡山県）

心の琴線をふるわす大正琴の音色に惹かれて昭和60年に発足。現在130名。指、目、耳を一度に働かせて老化防止にも役立つと、楽しく練習しています。昔の唄、子供の頃の歌、流行歌など音域のせまい中で工夫をしています。病院の慰問、催事への参加などで多忙です。今から1,300年の昔、偉大な政治家であり文学者であり芸術家でもある右大臣吉備真備（きびまきび）公生誕の地であり真備公が官職を辞し晩年を小田川の清流のほとりで琴を楽しまれたという琴弾岩（ことひきいわ）のあるこの地に大正琴の音色を充満させたいと思います。

IMPRESSION

すばらしい体験をさせて頂きありがとうございました。
障害者施設を見学して、当人達も、市民も特別な感情なしに明るくお互いを受入れている様子に感動しました。
大正琴に興味を持ち喜んで頂けた事が大きな収穫であったと喜んでいます。

橘流総本部（たちばなりゅうそうほんぶ）

剣詩舞（岡山県）

1959年（昭和34年）9月美岡同好会より引き継ぎ、橘流として発足。済世利民の教育に基き、公益事業としては青少年の育成、県と市教育委員会、社会福祉協議会に貢献しています。3年毎に国際音楽に参加。年間事業として、日本音楽祭、地区文化連盟発表会に参加しています。橘流は、詩吟、和歌、今様、琵琶歌、朗詠などを幅広く総ての詩を活用しているので「詩舞」と名付け、舞の衣裳は着物、袴、装束を着用。小道具は扇、刀、薙刀、弓などを持って舞います。大道具、照明などは舞台によって使用します。

IMPRESSION

海外公演のため戸惑いもありましたが、楽しい旅行となりました。それに国際交流、友好親善ができましたことを、私たちは満足しています。ありがとうございました。

備中神楽総社社中

郷土芸能(岡山県)

300余年の歴史の中で伝承されて来た備中神楽も新しい時代の風に消えようとしている昭和40年頃同好の志数名が師について芸を習得し、昭和44年に現在の総社社中を結成し、以来地元の祭を始め日本全国のイベントに参加、テレビ、映画にも出演、地方の時代、ふるさとの志向も重なって修学旅行の生徒達に人気を呼んで年ごとに盛況を増し、昭和53年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。伝統の芸を守りながら新しい演出効果を考え、ここ数年では年間120回を超す上演に10名のメンバーで頑張っている社中です。

IMPRESSION

これから国際交流が進む中で私達は何を学んで来るか、また日本でどのように生かすか、経済大国だ・歴史のある国だと、威張っているだけでは、やがて世界の国から見放されてしまう時が来るのではないだろうか、国際交流の中で日本の良いところを充分知ってもらうと同時に、日本にない良さを学び比較し、今失われつつある日本の良さを早く塞き止めて、より世界に誇れるマナーを養うことが国際文化交流の目的ではないだろうかと強く感じたところです。

宮坂流津山銭太鼓保存会

郷土芸能(岡山県)

創立昭和48年会員数1,800名、年令は4才～82才と幅広い。㈶日本民謡協会主催中四国大会連続9回受賞。テレビ東京主催ふるさとの唄と踊り日本一大会最優秀技能賞、文部大臣賞。サンケイ新聞主催日本民謡民舞大賞(1991年2月17日)で安来節で最優秀賞、内閣総理大臣、東京都知事賞。因幡大黒舞で優秀賞、文部大臣賞を受賞しました。海外公演はシンガポール、ハワイで行いました。

IMPRESSION

公演のリハーサル等について、もう少し念入りな打ち合わせができればと思いました。慌ただしさの中、いかに時間を有効に使用していくのかが、今後の課題なのでは……。

また、我々と同行してくださった方々には大変お世話になりました。ありがとうございました。

広島経済大学

野球親善試合(広島県)

広島経済大学は1967年4月に開学。建学以来の大理想は「和を以て貴しとなす」の精神。広島市内銀山城跡に位置し、東に太田川、眼下に広島市と瀬戸内海を一望する大学です。

ユタ州立大学と1988年より姉妹校提携し、今回野球部の交流試合を実施しました。

〈野球部の略歴〉

1967年　広島六大学野球連盟に加盟

1981年　台湾へ遠征

1984年　韓国へ遠征

1986年　韓国へ遠征

1988年　広島六大学選抜チームハワイ遠征に4名参加

1990年　広島六大学選抜チームハワイ遠征に5名参加

IMPRESSION

第1回アメリカジャパンウィークに広島代表として参加し、大変意義深い経験ができました。親善試合の結果については、あまり良くありませんでしたが、選手達は異国の地に行き、異文化に触れることもできました。さらに、数日間ホームステイも体験し、帰国後もホストファミリーと文通し、積極的に国際交流をしています。

大山僧兵太鼓

和太鼓演奏(鳥取県)

鳥取県大山寺に伝わる僧兵太鼓の由来は、今から約400年前に逆のぼります。開山以来、高僧が次々に輩出して発展して、寺院も兵力を持たなければ保護出来ない状況になり、多数の僧兵を持つようになり、次第に強大になりました。僧兵の偉業に対し、後世に何か残したいという熱意から、僧兵太鼓が復元されました。曲の内容は十章からなり、僧兵の戦いの様子などを表わします。必ず聞く人の心に触れ、その感動は忘れる事の出来ない想い出となるでしょう。

島根県

自治体(島根県)

島根県は本州の西方に位置し、日本海に面している約80万人の県です。島根県は日本の残されている面影を代表した最も文化的に古い地域の一つで、ここで偉大なる出雲大社、松江城をはじめとする多くの歴史的名所・旧跡、神楽、伝統的な芸能・工芸などを見つけることができます。さらに、県内には1つの国立公園、2つの国定公園、そして11の県立自然公園の損なわれていない自然も結びつけていることによって、島根県は違いのわかる旅人の別天地です。

IMPRESSION

島根県挙げての参加という今までとは違った参加の形であったと思います。各自治体単位でこうした取組みが日本各地から参加されることにより、日本の文化・芸能を体系的に、組織的に紹介できるのではないかと思います。そして、開催地と参加自治体との新しい交流も期待できるのではないかと思います。

掛谷太鼓保存会

郷土芸能(島根県)

掛合町民の連体と協調に支えられた、新しい町づくりのシンボルとして町内に働く若者の熱気により誕生した「掛合太鼓」です。町内の各名所旧跡及び伝統楽を基調とした、変化に富む5曲から構成されており、豪快な振りつけによる一糸乱れぬバチさばきが見もの。豪壮雄大な曲調の和太鼓曲です。大・中・小の太鼓と笛・ほら貝・当たり鉦・チャッパ・錫杖陣鐘など多種類の打楽器を駆使して、巧みなオーケストレーションによる合奏スタイルの編成です。

IMPRESSION

素晴らしい景観の雄大な自然に囲まれた、優しく心暖かい人々によって作られたソルトレイクシティでの演奏は、2000人の観衆が 全員総立ちとなってのカーテンコールの声と共に、生涯最高の思い出として忘れられないものになるでしょう。こんな素晴らしい所でのジャパンウイークを計画していただいた実行委員会の方々に、深い感謝の気持ちを捧げます。ありがとうございました。

浜田市石見神楽連絡協議会

郷土芸能(島根県)

島根県西部(石見地方)には古くから神楽(かぐら)が盛んでした。もともとは六調子の比較的ゆるやかなリズムからテンポの早い豪快な八調子が普及し、多く舞われるようになりました。今回参加した社中は、八調子の発祥の地といわれる浜田市近辺の社中から選抜された優秀なメンバーで構成されています。神楽面は隅取りを施して表情を誇張し、衣裳も繻子地に金・銀の刺しゅうをしたため華美なものであります。大蛇の胴も明治初期にいわゆる蛇腹式が考案され、技術的にも洗練されたものになっています。

IMPRESSION

我々日本人は、アメリカ人のように外国の人に対して気安く声をかけたり、あいさつをしたりしない国民です。しかし、アメリカの人達はみな門戸を大きく開け、異文化を受け入れてくれます。国際化が叫ばれて久しいですが、我々はそれに対応できる個人・団体を目指し、国をあげてそうした解放に努め、地球規模で物事に取り組んでいかなければと思います。
また、今回のジャパンウィークでは、島根県の卓抜した企画と努力により、日本の地方文化に光がさし花が咲いたような感動を覚えました。それは島根県人としての自信につながったと思っています。今まで、私たち県内の郷土芸能団体は横の連絡などなく、活動内容もほとんど知らない面が多かった。今後は県内の郷土芸能団体連絡協議会を結成し、横の連絡を取りながら団体の内容に精通し、対内、対外交流と振興をより図っていかなければ…と痛感いたしました。

安来節保存会

郷土民謡(島根県)

安来節保存会が創立したのは、明治44年。大正、昭和と年を追う毎に人気が高まり、大正時代には、初代渡部お糸等により全国巡業を行ないました。その後戦争により一時中断しましたが戦後昭和24年に保存会組織を再編し、優勝大会を開催し、現在も行っています。現在は、唄、踊、絃、鼓の各部門において3級から名人までの11階級を設け毎年審査を行っています。現在、会員数は全国に65支部7,000名を数えています。なお、各種民謡大会、博覧会などに積極的に出演しています。

IMPRESSION

貴重な国際交流でした。感謝いたします。できれば体験参加をしていただき、日本の伝統芸能を肌で感じ取っていただければ、一層の交流が深まったことと思います。

善通寺龍神太鼓

「ジパング」(香川県)

昭和47年4月、善通寺龍神太鼓として発足、善通寺の郷土芸能として県内外にて幅広く活動し、北は北海道から南は沖縄まで演奏活動に至る。昭和56年11月、中国「万里の長城」で、日本で初めて和太鼓を響かせました。これを機に、結成10周年記念コンサートを開催し、広く市民の絶賛を浴び定期演奏会として定着。各地の和太鼓の作曲、指導にもあたり、伝承芸能育成に寄与しています。龍神太鼓はリズムの中にメロディーを挿入して幅広い音楽性を求める為尺八、篠笛、三味線を習得して邦楽集団を目指しています。

IMPRESSION

アメリカという国で、私達の求めている音楽あるいは、邦楽といった日本の文化が、見せて聞かせるだけでわかっていただけるか、心細い出発でしたが、このたびのアメリカジャパン ウィークが大盛況に終り私達としては、大きな自信もでき、課題もできた公演でした。
関係の皆様にも大変お世話になり、この様ないい結果が得られた事を心より感謝いたします。

高松市民よう協会

香川の郷土芸能(香川県)

唄と踊りは人々の生活に潤いと楽しみを与える文化です。その伝統維持と新しい創造のために同好者(8団体約400名)が1974年に結成した協会です。年間を通して毎週2回の各公民館活動をしています。1990年現在16団体1,100名の会員です。過去の海外公演1973年ユーゴスラビア、1980年東独とシンガポール、1981年ハワイ、1982年オーストラリア、1988年フランス。

IMPRESSION

今回のアメリカジャパンウィークは、我々にとって大変良い勉強になりました。今後も、さらに、文化を通じてアメリカの人達と交流ができれば本当に素晴しいことだと思います。

よさこい祭振興会

よさこい鳴子踊り(高知県)

古く江戸時代、土佐五台山、竹林寺の僧、純信とお馬の恋物語を風刺して土佐人にうたい継がれた民謡「よさこい節」をもとに、1954年高知商工会議所が中心となって高知市民の一大行事として"よさこい鳴子踊り"が始められました。毎年8月9日からの3日間に150団体、2万人の踊り子が市内10ヶ所で衣裳や振り付けに工夫を凝らし華やかに乱舞する南国土佐のカーニバルです。サンバ、ロック、古典の踊りと多様で見物人を飽きさせません。1972年から海外にも派遣され国際文化交流に一役買って全国的にも有名な祭となっています。

IMPRESSION

ヨーロッパと違って国民性の違いからか、人との交流、触れ合いができたことに非常に満足しています。よさこい鳴子踊りは、これからも現地の人と一緒に踊り、国際的に踊りを普及させたいと思います。

緒方三郎太鼓座

郷土芸能(大分県)

大分県屈指の大穀倉地帯である緒方平野。その肥沃な大地を育む「緒方川」、それに太古よりどっしりと微動だにもせず横たわり「大分のナイヤガラ瀑布」とまで称賛される「原尻の滝」そしてそれらを時にはやさしく、時には雄々しく抱く祖母傾山系、そんな大景観を思いきり存分にイメージした曲に古来より緒方に伝わる四季折々の「祭り囃し」と「舞い」を盛り沢山に取り入れ、自作の小道具を用い、郷土の大武将「緒方三郎惟栄」の名に因み「緒方三郎太鼓座」として、地域づくり、村おこしの一環として活動を続ける一座です。

大分県九重町餅搗踊保存会

餅搗踊(大分県)

今から約700年前(1290年頃)村は大飢饉にみまわれ、その日の食べ物にも事欠く有様でした。村人達は心を一つにして約1ヘクタールの小高い丘に社を建て酒盛をして3日3晩踊り明かし豊作を祈願したところその翌年からは大豊作で、村人達の生活は豊かになったと伝えられ、その時の踊りが、今もなお伝わる餅搗踊りです。この踊りは観衆の前で踊りながら実際に餅をつく雄荘快活な踊りで、全国的にも著名です。

由布院神楽保存会

郷土芸能・大蛇退治(大分県)

NHK「ふるさとの歌まつり」を始め東京日劇の出演、関西の舞台など多数出演。第一回(1986年)ヨーロッパジャパンウィーク(フローレンス)参加。演じる内容は、悪名高い素戔嗚命が天照大御神や諸神に高天原を追われたが、出雲の国簸の川で出会った櫛名田姫を嫁とり、ヤマタの大蛇(8頭8尾)を退治するという古事記上巻の伝説を豪壮華麗かつ神秘的にくりひろげます。

IMPRESSION

由布院神楽は大変高い評価いただき光栄に存じております。誠にありがとうございました。感謝申し上げます。

JR西日本

親善訪問団

JR西日本は安全・正確で魅力ある新幹線など輸送サービスを中心に、鉄道のネットワークを最大限に生かした旅行業、駅ビル・飲食など関連事業を積極的に展開し、地域の皆様のくらしをすべてにわたってサポートする「総合サービス企業」となることを目標としています。旅行業では、国内旅行だけでなく海外旅行(ブランド名：WENS・WORLD)も約60箇所のTiSでお取り扱いし、楽しい旅を提供しています。

米国・ユタ州と日本の各地で沸き起こる、記念すべき第1回アメリカジャパ

「生の日本」ずらり

ユタ州で日本週間 童謡や柔道で交歓

ドラゴンダンスに感嘆 ユタ州都で島根ナイト

●山陰中央新報社 1991.5.31

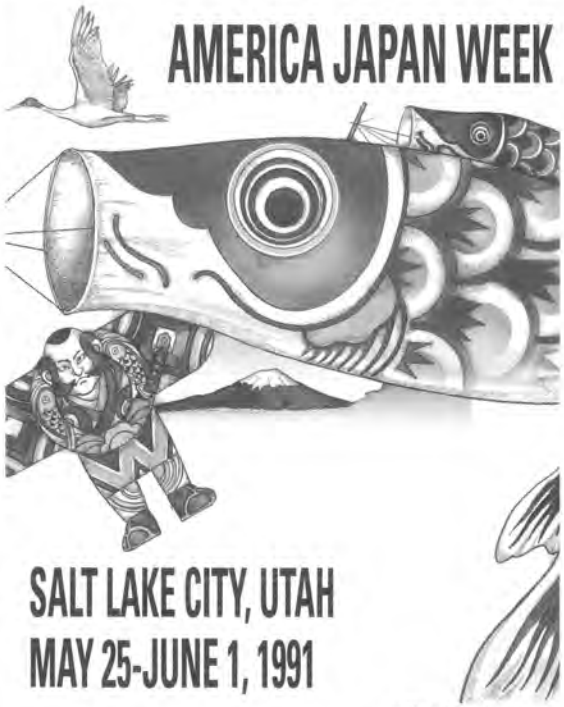
●朝日新聞 1991.6.7

和やか交流 友情手ごたえ

JW「松本デー」にぎわう

●信濃毎日新聞 1991.5.30

●英文チラシ



●英文公式パンフレット

ンウィークの話題。

DESERET NEWS C1

Today

Dear Abby / Features
Mark Pahlmkh / Dr. Donohue
Entertainment / Review
Television Today / Comics

Thursday, May 30, 1991

Utahns bask in beauty and traditions of Japan

Exhibits to be displayed through Saturday, June 1

By Dorothy Stowe
Deseret News arts editor

PEOPLE AND SCENES of America Japan Week, continuous at the Salt Palace or, where noted, at the Salt Lake Art Center through June 2:

■ A 20-MINUTE tea ceremony involves traditions that may well take months and even months of preparation and at least four hours' observance at a gracious Japanese home, with time to enjoy a simple meal, express gratitude and admiration and arrive at a state of tranquillity.

The fine art of Chado, the Way of Tea, has its roots in a non-profit organization, the Urasenke Foundation, with offices at Tokyo, Kyoto, New York, San Francisco, Seattle, Honolulu and London, where you can receive instruction in the Japanese tea ceremony.

The Japanese tea aesthetic was established by master Sen Rikyu (1522-1591), who summarized its basic benefits in four characters: wa, meaning harmony between people and harmony of people with nature; kei, respect for the tea utensils, the which humans engaged, akin to gratitude, paid to all things; sei, or peaceful, orderly and spiritual; and jaku, the tranquillity or peace of spirit that comes from the realization of the other three principles.

"Though there are very specific social customs and procedures for both hostess and guest, a well-conducted tea ceremony flows so naturally and spontaneously as a dance," said instructor Dale Hunter.

■ MIYUKO MIYAHARA owns Ariz, a fashionable shop in Kyoto, where she has lately begun selling her own designs (reminiscent of traditional kimonos — beautiful hand-crafted dresses of linen, silk or washable rayon, with exquisite detailing, intended for street or party wear. The price tag is not small — from $1,500 to $4,000. Bernice Kida of Salt Lake models.

■ WOOD CARVER Toshikazu Suzuki sits hunched over his work, a blue cloth covering his lap to catch the chips, and dozens of knives spread out before him. The sculptor is in working on, of flowers, birds and dragons, a a wall hanging about 3 feet by 1 foot. Following his own detailed sketch, it will take him two

Please see JAPAN on C2

Tomie Hamano and Randy Burks conduct a tea ceremony, above. The ceremony may well take weeks and even months of preparation and at least four hours' observance in a gracious Japanese home. Toshikazu Suzuki, left, works on a sculpture of flowers, birds and dragons. The wall hanging will take him two weeks to complete, working eight hours a day. One of only a dozen or so craftsmen in Japan who still maintain the art of hand carving, Suzuki is considered a national treasure. He has taught his craft to five students.

A Buddhist painting titled "Nirvana," above, by Gen Adachibara, is an excellent example of Shabutsu art of Japan. It can be seen at the Salt Lake Art Center. University of Utah students Kathryn Berzant and Stanley Wong, left, pause at the Art Center to personalize their own Buddhas on a big poster, containing a mass of tiny Buddhas. An 800-year-old ceremonial fire robe, below, is a treasured artifact of Salt Lake City's sister city, Matsumoto, Japan. In old Japan it was donned in times of danger. It is on display at the Salt Palace.

●DESERET NEWS, THURS. P.M. /FRI. A.M. MAY 30-31, 1991

Paul Fraughton/The Salt Lake Tribune

Switch to a Decaf

Actually, drummer is from troupe Ogata Saburo Taiko-Za and is taking part in America Japan Week at Promised Valley Playhouse Thursday. Audience saw demonstrations of folk music, meditation and traditional rice-cake-making dance.

●The Salt Lake Tribune, Friday, May 31, 1991

Rick Egan/The Salt Lake Tribune

Japanese Share Slicing Skills

This martial arts expert shows his expertise with a blade during the Nippon Budokan Martial Arts Demonstration Saturday in the Salt Palace Convention Hall. The event displays the art of martial arts as part of America-Japan Week.

●The Salt Lake Tribune, Monday, June 3, 1991

Japanese share finer points of tradition with Utahns

■ **Culture:** Volunteers are pleased by Utahns' warm, caring reception.

By Kara Leigh Hamilton
Deseret News staff writer

Discover Japan
An educational supplement about Japan is available with classroom orders for the Deseret NEWSpaper in Education department, 237-2140.

Japan America Week offers a variety of events and activities that are free and open to the public. Here is a list of today's activities:

■ **THE SALT LAKE ARTS CENTER** will be open from 12 p.m. to 7 p.m. and will have an exhibit featuring the Japanese art "Shabutsu." A calligraphy exhibit and calligraphy work shop will also be available.

■ **THE SALT PALACE** will offer a variety of exhibits and demonstrations in suites A-E including flower arranging, tea ceremonies, painting, calligraphy, silk painting, pottery and wedding uniforms.

In Suite J demonstrations of the Japanese tea ceremony will be offered at 1, 3:30 and 4 p.m.

■ **THE CAPITOL THEATRE** will feature a kimono fashion show beginning at 7 p.m., and the Japanese Bosse dance with fireworks will be highlighted. Japanese musical works will also be performed.

■ **SUGARHOUSE PARK** host Japanese lady bass fishers world, along that fireworks at 8:30 p.m.

Amidst exotic fresh flower displays and 400-year-old suits of armor, volunteers for America Japan Week can be seen rushing from one person to the next, explaining the finer points of Japanese culture and tradition.

Approximately 1,000 Japanese have come to Salt Lake City at their own expense to be part of the week's festivities, and more than 400 Utah residents have offered their time and services as well.

One volunteer, Tomiko Moses, said America Japan Week has been a "pure people event" because people who have come from Japan for the fair are not professionals. Instead, they are people who have come because they love art, not because of money. They want to share their hobbies, their folk art."

Moses, a native of Japan, attended Brigham Young University and has lived in the United States since that time. Her job is to coordinate volunteers for the exhibits. She said there are over 400 translators; 300 are returned missionaries for The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 150 are Japanese-Americans and about 50 are Japanese exchange students or Japanese who live in the United States now.

Moses said most of the Japanese who have come to Salt Lake City for the fair don't speak English so there has been "some miscommunication, a lot of guessing and a lot of last-minute running around" but things have, on the whole, run smoothly.

"The Japanese-Americans have been very supportive and are the foundation of this activity. They have volunteered many hours of work," said Moses.

Hideaki Kambishi, Japan's chairman for America Japan Week said through an interpreter, that the Japanese hope to accomplish two things by participating to give the world a feel for the Japanese culture and what it's all about and to feel an internal sense of accomplishment. "The people are constantly practicing their dances and demonstrations, and these fairs are a great target to prepare themselves for," he said.

Kambishi has attended four or five other Japan weeks in Europe, and said he has never seen as much enthusiasm and excitement as the volunteers in Salt Lake City have displayed.

"This time we're very pleased. There is such a large number of people attending and the volunteers are so enthusiastic and helpful. Some of our volunteers have already gone back to Japan and they all indicated they were very pleased."

Tomio Murai, co-chairman with Kambishi, said through an interpreter, "We feel the Salt Lake people are just warm and caring. We can also feel a lot of enthusiasm from local volunteers. They are all anxious and willing to help."

Speaking through an interpreter, Yoshio Takahashi said the reason volunteers bring their warm such a great distance, coming twenty out of their own pockets, is so people in Utah and the United States will have a better understanding of Japan and its culture and traditions. "Hopefully it will build a friendship between Utah and Japan," said Takahashi, Matsumoto's assistant director of public information.

Moses said Salt Lake City has set a good precedent as this is the first Japan week to be held in the United States. "People were so surprised — they didn't expect such a welcome. The Japanese say they feel welcome."

PHOTOGRAPHY: RANDY DALL

Mieko Matsuoka, left, serves as translator for Toshikazu Suzuki and his wife, Chieko, as they discuss a Japanese wood carving from Mikawa, Japan, with Dinah Torres and Masami Ichikawa.

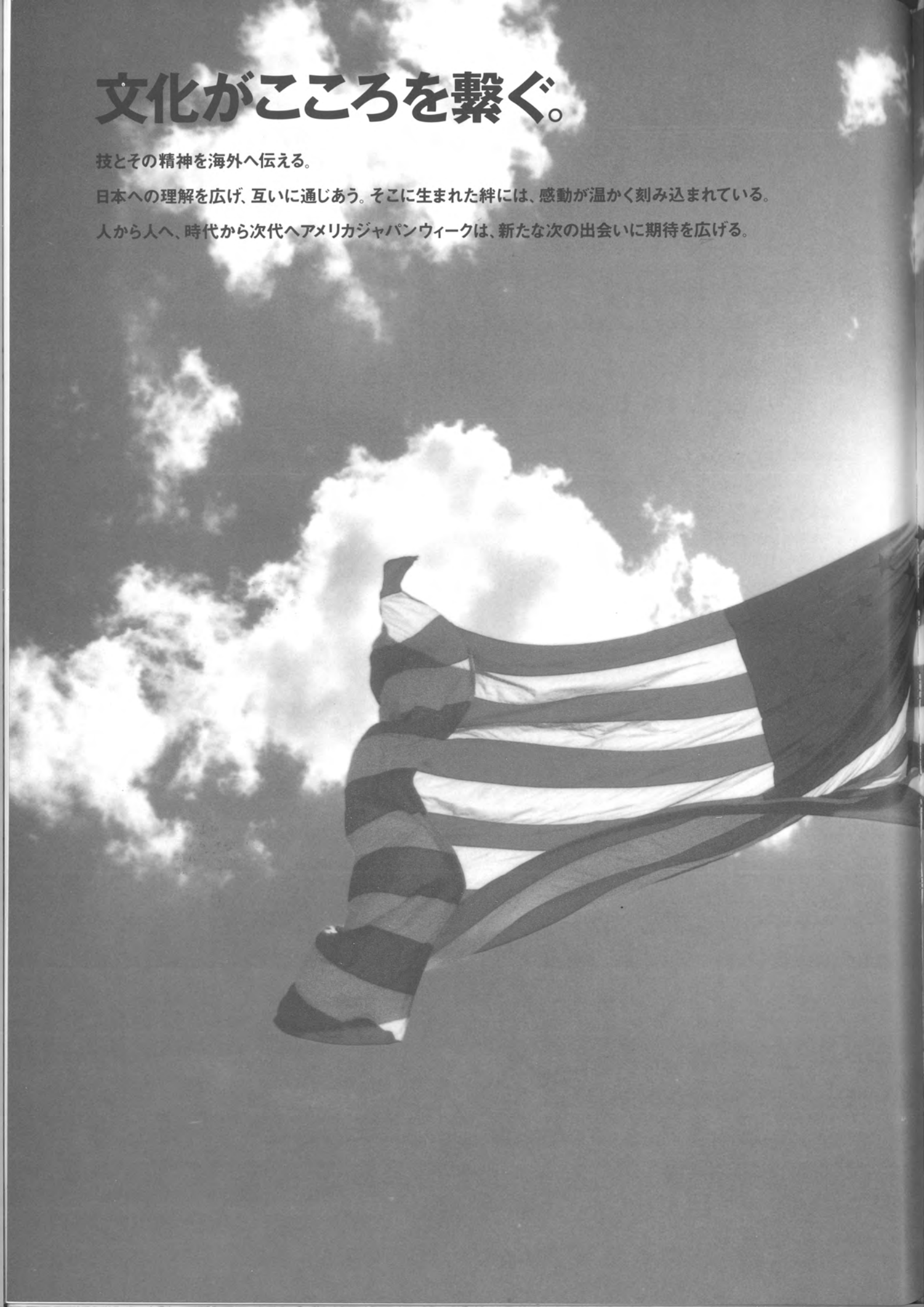
●DESERET NEWS, THURS. P.M. /FRI. A.M. MAY 30-31, 1991

文化がこころを繋ぐ。

技とその精神を海外へ伝える。

日本への理解を広げ、互いに通じあう。そこに生まれた絆には、感動が温かく刻み込まれている。

人から人へ、時代から次代へアメリカジャパンウィークは、新たな次の出会いに期待を広げる。



CULTURE COMMUNICATION

HISTORY OF JAPAN WEEK

理解を広げ、歩みよる悦びが刻まれる。

ヨーロッパジャパンウィーク

第1回 イタリア・フローレンス市

1986年11月26日～12月2日 7日間
主催/ジャパンウィーク実行委員会
日本側名誉理事長　愛知和男(衆議院議員)
イタリア側名誉委員長　マッシモ・ボジアンキーノ(フローレンス市長)
後援/在イタリア日本大使館、在日イタリア大使館、イタリア政府観光局
協賛/アリタリア航空、日本航空㈱日本旅行
参加者数/43団体 1,200人
観客動員数/80,000人

第2回 オランダ・アムステルダム市

1987年10月22日～10月27日 6日間
主催/ジャパンウィーク実行委員会
日本側名誉理事長　愛知和男(衆議院議員)
オランダ側委員長　Mr. P.A.C. Beelaerts Van Blokland(アムステルダム市長)
後援/在オランダ日本大使館、在日オランダ大使館、オランダ政府観光局
協賛/KLMオランダ航空、日本航空㈱日本旅行、他11社
参加者数/33団体 750人
観客動員数/70,000人

第3回 ドイツ・ハンブルグ市

1988年11月28日～12月3日 6日間
主催/ジャパンウィーク実行委員会
日本側名誉理事長　愛知和男(衆議院議員)
ドイツ側委員長　Dr. Henning Voscherau(ハンブルグ市長)
後援/在ハンブルグ日本総領事館、ドイツ観光局
協賛/日本航空、ルフトハンザドイツ航空㈱日本旅行
参加者数/39団体 900人
観客動員数/25,000人

第4回 フランス・マルセイユ市

1989年11月25日～12月2日 8日間
主催/ジャパンウィーク実行委員会
日本側名誉理事長　愛知和男(衆議院議員)
フランス側名誉理事長　Mr. R.P. ヴィグルー(マルセイユ市長)
後援/在マルセイユ日本総領事館、フランス政府観光局
協賛/エールフランス国営航空会社、日本航空、㈱日本旅行
参加者数/79団体 2,450人
観客動員数/95,000人

第5回 スコットランド・グラスゴー市

1990年11月26日～12月1日 6日間
主催/ジャパンウィーク実行委員会
日本側名誉理事長　愛知和男(衆議院議員)
イギリス側名誉委員長　スーザン・ビアッド(グラスゴー市長)
後援/グラスゴー '90文化首都フェスティバル委員会、在英日本大使館
協力/英国政府観光庁
協賛/英国航空、日本航空㈱日本旅行
参加者数/41団体 1,040人
観客動員数/39,000人

第6回 フランス・ボルドー市

1991年11月23日～11月30日 8日間
主催/ジャパンウィーク実行委員会
日本側名誉理事長代行　保利耕輔(衆議院議員・文教部会長)
フランス側名誉委員長　ジャック シャバン デルマス(ボルドー市長)
後援/在仏日本大使館、在日フランス政府観光局
協賛/エールフランス国営航空会社、日本航空、㈱日本旅行
参加者数/50団体 1,200人(予定)

❶茶道実演（イタリア）
❷パレード（オランダ）
❸公演（ドイツ）
❹お祭会場での実演（フランス）
❺グラスゴー市庁舎（市議会）
❻サントカトリーヌ通り（ボルドー市）
❼特設会場（フランス）
❽公演（フランス）

'92 第2回アメリカジャパンウィークは、風光明媚な

オレゴン州・ポートランド

米国西北部の太平洋岸に位置するオレゴン州。人口は266万人、面積は日本の全面積の3分の2(全米で第10位)ほどもあります。

豊かな自然と温暖な気候が息づくオレゴン州は、アウトドアスポーツが一年中楽しめ、米国民の間でも「一番住んでみたい州」として知られています。州の中心都市は「バラの都」とも呼ばれるポートランドです。街では文化活動、スポーツとも毎年盛んに行われ、そのステージとなる施設は、格調高く先進の技術が施されています。'92年、第2回アメリカジャパンウィークは、このような豊かな自然環境に恵まれた、文化活動・スポーツの盛んなオレゴン州・ポートランド市での開催が決定しています。

'92 第2回アメリカジャパンウィーク概要

●開催場所
アメリカ合衆国・オレゴン州・ポートランド市

●開催期間
1992年5月22日(金)～5月30日(土)

●開催規模
米国・現地側 30万人 動員予定
日本人参加者 3,000人(予定)
- 伝統文化 公演20団体、展示20団体
- 祭り、郷土芸能 公演20団体
- スポーツ、その他

●開催概要
主催:アメリカジャパンウィーク実行委員会
後援(予定):米国オレゴン州政府・ポートランド市・オレゴン日米協会・ポートランド港湾局・ポートランド・オレゴン・観光協会・米国商務省観光局・在ポートランド日本国総領事館・特殊法人 国際観光振興会・財団法人 日米地域間交流推進協会・社団法人 日米協会・西日本旅客鉄道株式会社
協賛:日本航空株式会社・デルタ航空会社・株式会社日本旅行

●マルトノーマの滝

●クラウンポイント

バラの都「オレゴン州・ポートランド」へ。

●ポートランド市内

●ローズフェスティバル

●ピトックマンション

会　場　説　明

シュニッツァーホール

1928年に映画館として建てられたポートランドでは最も格調の高い劇場です。オレゴン・シンフォニーのホームシアターであり、オペラをはじめ様々な公演が行なわれています。
また、クリスタルのシャンデリアを配したロココ調のロビーは、ファッションショーやパーティーなどにも使われます。このシュニッツァーホールは、伝統文化、郷土芸能の特別公演で使用する予定です。
（座席数：2,776席）

パフォーミングアートセンター

シュニッツァーホールと道を隔てて隣接するパフォーミングアートセンターは、1987年の最優秀デザイン賞を受賞した大変素晴らしい劇場です。この劇場内には、エドワード調のインターミディエートシアターとエリザベス調のドロレスウィニングスタッドシアターの趣が違う二つのシアターがあり、両シアターは開放的で落ち着きのあるロビーを共有しています。このパフォーミングアートセンターは、伝統文化、郷土芸能の公演で使用する予定です。
左側の写真は、インターミディエートシアターの会場内のものです。（座席数：916席）

オレゴン・コンベンションセンター

1990年9月にオープンしたオレゴン・コンベンションセンターは、ポートランド市内を流れるウィラメット川東岸にあり、ダウンタウン（繁華街）とは市電で結ばれています。17エーカー（約69,000㎡）の敷地を擁するこの最新のコンベンションセンターは二つのタワーがそびえ立つオレゴン州を代表する施設です。同センターには、最大13,000人を収容できるコンベンションホールと大小様々な会議室（28室）などがあります。
また、ロビー及びコンコースは、一流ホテルのような豪華さとゆとりを備えています。このオレゴン・コンベンションセンターは、伝統文化、工芸の展示・実演で使用する予定です。

編集後記

過去5回のヨーロッパジャパンウィークの経験・実績をもとに、スタートした第1回アメリカジャパンウィークは、無事大成功の裡に終えることができました。
昨今の複雑な日米関係の状況下において、このような民間外交を企画するに当たり、本来の目的である、伝統文化・芸能の披露とともに、開催地の米国民との交流、親善、相互理解を大命題に取り組んでまいりました。
開催後、ユタ州政府ほか関係機関から、この大命題について当初の目的が実現できたというお言葉をいただき日本側関係者一同ほっと胸をなでおろしております。参加団体の方々からも参加後のご感想、ご意見をいただき、様々な課題を残してはおりますが、民間交流として着実に実を結んだと自負いたしております。
今後、ヨーロッパ諸国及びアメリカ合衆国において、毎年各1回"ジャパンウィーク"を開催することにより、市民レベルでの交流と開催国とのより一層の相互理解の実現を図るとともに、名実共に日本を代表するイベントとしてまいりたいと思います。
第1回アメリカジャパンウィーク開催に当たり、ご支援、ご協力いただいた日本からの参加団体の皆様方、そして、米国側実行委員会として運営、開催のご努力をいただいた100名にも及ぶ委員の皆様方、400名にも及ぶボランティアの方々、他企画、準備、運営で舞台裏でご協力いただきました皆様方に改めて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。最後に、今後とも引き続き"ジャパンウィーク"をご支援、ご協力賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

アメリカジャパンウィーク実行委員会
本部事務局：〒105 東京都港区新橋2-20-15新橋駅前ビル1号館6階
東日本事務局：〒105 東京都港区新橋2-16-1ニュー新橋ビル8階
TEL.(03)3502-2356 FAX.(03)3595-2757
西日本事務局：〒530 大阪市北区曽根崎2-12-7梅田第一ビル9階
TEL.(06)312-1059 FAX.(06)312-2624

第1回アメリカジャパンウィーク記念アルバム誌
〔発行〕アメリカジャパンウィーク実行委員会 〔編集〕安田貞雄/㈱セクターエイティエイト
〔アートディレクション、デザイン〕松下好成、立川裕二/㈱ウイズ〔コピー〕西村和幸/㈱ウイズ〔撮影〕七戸隆宏 〔印刷・製本〕太陽美術株式会社 1991年10月1日第1刷発行
※本文中の誤字・脱字等に関しましては予め御詫び致します。ご了承ください。また、キャプション・名簿等の氏名の敬称は勝手ながら省略させていただいております。※乱丁・落丁本はおとりかえします。無断転載・転用・複写を禁じます。